

(様式第9)

阪医病総第 2- 1号
平成19年10月 5日

厚生労働大臣

殿

大阪大学医学部附属病院長
林 紀

大阪大学医学部附属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法第12条の3の規定に基づき、平成18年度の業務に関して報告します。

記

- 1 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照(様式第10)
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照(様式第11)
- 3 高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数	88人
--------	-----

(注) 前年度の研修医の実数を記入すること。

- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法
→ 別紙参照(様式第12)
- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績
→ 別紙参照(様式第13)

7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職種	常勤	非常勤	合計	職種	員数	職種	員数
医師	365人	353人	610.2人	看護業務補助	15.2人	診療エックス線技師	0人
歯科医師	0人	0人	0人	理学療法士	7人	臨床検査技師	71.2人
薬剤師	45人	12人	53.2人	作業療法士	3人	衛生検査技師	5人
保健師	0人	0人	0人	視能訓練士	11.8人	その他	0人
助産師	26人	0人	26.0人	義肢装具士	0人	あん摩マッサージ指圧師	0人
看護師	793人	17人	805.7人	臨床工学技士	8人	医療社会事業従事者	2人
准看護師	8人	0人	8.0人	栄養士	0人	その他の技術員	13.5人
歯科衛生士	0人	1人	0.7人	歯科技工士	0人	事務職員	181.5人
管理栄養士	5人	0人	5.0人	診療放射線技師	49人	その他の職員	23.5人

- (注) 1 報告を行う当該年度の10月1日現在の員数を記入すること。
- 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
- 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

8 入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科及び小児歯科の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	875.2人	1人	875.2人
1日当たり平均外来患者数	2,476.9人	5.7人	2,482.6人
1日当たり平均調剤数	外来 101.1	入院 895.0	合計 996.1 剤

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。
- 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
- 3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

1 高度先進医療の承認の有無及び取扱い患者数

高度先進医療の種類(医科)	承認	取扱い患者数
・顔面骨又は頭蓋骨の観血的移動術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・培養細胞による先天性代謝異常診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・溶血性貧血症の病因解析及び遺伝子解析診断法	有・ <input type="radio"/> 無	人
・経皮的埋め込み電極を用いた機能的電子刺激療法	有・ <input type="radio"/> 無	人
・人工括約筋を用いた尿失禁の治療	有・ <input type="radio"/> 無	人
・人工中耳	有・ <input type="radio"/> 無	人
・実物大臓器立体モデルによる手術計画	<input checked="" type="radio"/> 有・無	0人
・性腺機能不全の早期診断法	有・ <input type="radio"/> 無	人
・経皮的レーザー椎間板切除術(内視鏡下を含む)	有・ <input type="radio"/> 無	人
・造血器腫瘍細胞における薬剤耐性遺伝子産物P糖蛋白の測定	有・ <input type="radio"/> 無	人
・スキンドファイバー法による悪性高熱症診断法	有・ <input type="radio"/> 無	人
・血小板膜糖蛋白異常症の病型及び病因診断	<input checked="" type="radio"/> 有・無	0人
・焦点式高エネルギー超音波療法	有・ <input type="radio"/> 無	人
・オープンMRを用いた腰椎椎間板ヘルニアに対するヤグレーザーによる経皮的椎間板減圧術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・肺腫瘍のCTガイド下気管支鏡検査	有・ <input type="radio"/> 無	人
・先天性血液凝固異常症の遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・筋緊張性ジストロフィーのDNA診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・SDI法による抗がん剤感受性試験	有・ <input type="radio"/> 無	人
・内視鏡下頸部良性腫瘍摘出術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・栄養障害型表皮水疱症のDNA診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・家族性アミロイドーシスのDNA診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・三次元形状解析による顔面の形態的診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・マス・スペクトロメトリーによる家族性アミロイドーシスの診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・抗がん剤感受性試験	有・ <input type="radio"/> 無	人
・子宮頸部前がん病変のHPV-DNA診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・不整脈疾患における遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・腹腔鏡下肝切除術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・画像支援ナビゲーション手術	<input checked="" type="radio"/> 有・無	44人
・悪性腫瘍に対する粒子線治療	有・ <input type="radio"/> 無	人
・エキシマレーザーによる治療的角膜切除術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・成長障害のDNA診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・生体部分肺移植術	<input checked="" type="radio"/> 有・無	0人
・門脈圧亢進症に対する経頸静脈肝内門脈大循環短絡術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・乳房温存療法における鏡視下腋窩郭清術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・悪性黒色腫におけるセンチネルリンパ節の遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・腫瘍性骨病変及び骨粗鬆症に伴う骨脆弱性病変に対する経皮的骨形成術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・声帯内自家側頭筋膜移植術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・骨髄細胞移植による血管新生療法	有・ <input type="radio"/> 無	人
・ミトコンドリア病のDNA診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・悪性黒色腫又は乳がんにおけるセンチネルリンパ節の同定と転移の検索	有・ <input type="radio"/> 無	人
・鏡視下肩峰下腔徐圧術	有・ <input type="radio"/> 無	人

高度先進医療の種類(医科)	承認	取扱い患者数
・神経変性疾患のDNA診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・脊髄性筋萎縮症のDNA診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・難治性眼疾患に対する羊膜移植術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・固形がんに対する重粒子線治療	有・ <input type="radio"/> 無	人
・脊椎腫瘍に対する腫瘍脊椎骨全摘術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・カフェイン併用化学療法	有・ <input type="radio"/> 無	人
・31P-磁気共鳴スペクトロスコピーとケミカルシフト画像による糖尿病性足病変の非侵襲的診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・特発性男性不妊症又は性腺機能不全症の遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・胎児尿路・羊水腔シャント術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・遺伝性コプロポルフィン症のDNA診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・固形腫瘍(神経芽腫)のRNA診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・硬膜外腔内視鏡による難治性腰下肢痛の治療	<input checked="" type="radio"/> 有・無	1人
・重症BCG副反応症例における遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・自家液体室素処理骨による骨軟部腫瘍切除後骨欠損の再建	有・ <input type="radio"/> 無	人
・腓腫瘍に対する腹腔鏡補助下腓切除術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・低悪性度非ホジキンリンパ腫の遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・悪性脳腫瘍に対する抗がん剤治療における薬剤耐性遺伝子解析	有・ <input type="radio"/> 無	人
・高発がん性遺伝性皮膚疾患のDNA診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・筋過緊張に対するmuscle afferent block(MAB)治療	有・ <input type="radio"/> 無	人
・Q熱診断における血清抗体価測定及び病原体遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・エキシマレーザー冠動脈形成術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・活性化Tリンパ球移入療法	有・ <input type="radio"/> 無	人
・抗がん剤感受性試験(CD-DST法)	<input checked="" type="radio"/> 有・無	2人
・胸部悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法	有・ <input type="radio"/> 無	人
・家族性アルツハイマー病の遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・腎悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法	有・ <input type="radio"/> 無	人
・膀胱尿管逆流症に対する腹腔鏡下逆流防止術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・中枢神経白質形成異常症の遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・三次元再構築画像による股関節疾患の診断と治療	<input checked="" type="radio"/> 有・無	52人
・樹状細胞及び腫瘍抗原ペプチドを用いたがんワクチン療法	有・ <input type="radio"/> 無	人
・内視鏡下甲状腺がん手術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・骨腫瘍のCT透視ガイド下経皮的ラジオ波焼灼療法	<input checked="" type="radio"/> 有・無	0人
・泌尿生殖器腫瘍の後腹膜リンパ節転移に対する腹腔鏡下リンパ節郭清術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・HLA抗原不一致血縁ドナーからのCD34陽性造血幹細胞移植	有・ <input type="radio"/> 無	人
・下肢静脈瘤に対する血管内レーザー治療法	有・ <input type="radio"/> 無	人
・頚椎椎間板ヘルニアに対するヤグレーザーによる経皮的椎間板減圧術(CT透視下法)	有・ <input type="radio"/> 無	人
・胎児胸腔・羊水腔シャントチューブ留置術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・活性化血小板の検出	有・ <input type="radio"/> 無	人
・早期胃がんに対する腹腔鏡下センチネルリンパ節検索	有・ <input type="radio"/> 無	人
・ケラチン病の遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・隆起性皮膚線維肉腫の遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・末梢血幹細胞(CD34陽性細胞に限る。)による血管再生治療	有・ <input type="radio"/> 無	人
・末梢血単核球移植による血管再生治療	有・ <input type="radio"/> 無	人

高度先進医療の種類(医科)	承認	取扱い患者数
・副甲状腺内活性型ビタミンD(アナログ)直接注入療法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・グルタミン受容体自己抗体による自己免疫性神経疾患の診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・腹腔鏡下広汎子宮全摘出術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・一絨毛膜性双胎妊娠において発症した双胎間輸血症候群に対する内視鏡的胎盤吻合血管レーザー焼灼術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・自己腫瘍(組織)を用いた活性化自己リンパ球移入療法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・自己腫瘍(組織)及び樹状細胞を用いた活性化自己リンパ球移入療法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人

高度先進医療の種類(歯科)	承認	取扱い患者数
・インプラント義歯	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・顎顔面補綴	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・顎関節症の補綴学的治療	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・歯周組織再生誘導法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・接着ブリッジによる欠損補綴並びに動揺歯固定	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・光学印象採得による陶材歯冠修復法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・エックス線透視下非観血的唾石摘出術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・レーザー応用による齲蝕除去・スケーリングの無痛療法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・顎関節鏡視下レーザー手術併用による円板縫合固定術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・顎関節脱臼内視鏡下手術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・耳鼻いんこう科領域の機能障害を伴った顎関節症に対する中耳伝音系を指標とした顎位決定法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人

先進医療の種類	承認	取扱い患者数
高周波切除器を用いた子宮筋症核出術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
自動吻合器を用いた直腸粘膜脱又は内痔核手術(PPH)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
画像支援ナビゲーションによる膝靭帯再建手術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
凍結保存同種組織を用いた外科治療	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
強度変調放射線治療	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
胎児心超音波検査	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
内視鏡下小切開泌尿器腫瘍手術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
画像支援ナビゲーションによる内視鏡下鼻内副鼻腔手術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
インプラント義歯	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
顎顔面補綴	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
人工中耳	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
歯周組織再生誘導法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
抗がん剤感受性試験	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
腹腔鏡下肝切除術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
生体部分肺移植術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
活性化血小板の検出	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
末梢血幹細胞による血管再生治療	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人

先進医療の種類	承認	取扱い患者数
カラー蛍光観察システム下気管支鏡検査及び光線力学療法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
先天性銅代謝異常症の遺伝子診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
超音波骨折治療法	<input checked="" type="radio"/> 有・無	0人
眼底三次元画像解析	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
CYP2C19遺伝子多型検査に基づくテーラーメイドのヘリコバクター・ピロリ除菌療法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
非生体ドナーから採取された同種骨・靭帯組織の凍結保存	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
X線CT診断装置及び手術用顕微鏡を用いた歯根端切除手術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
定量的CTを用いた有限要素法による骨強度予測評価	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人

(注) 1 「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

2 高度先進医療で上の表に掲げられていないものを行っている場合は、空欄の部分に記入すること。

3 先進医療で上の表に掲げているものは、今年度の業務に関する報告の対象ではないが来年度以降の参考のため記入すること。

2 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾患名	取扱い患者数	疾患名	取扱い患者数
・ベーチェット病	196 人	・モヤモヤ病(ウイルス動脈輪閉塞症)	18 人
・多発性硬化症	47 人	・ウェゲナー肉芽腫症	7 人
・重症筋無力症	187 人	・特発性拡張型(うっ血型)心筋症	104 人
・全身性エリテマトーデス	393 人	・多系統萎縮症	25 人
・スモン	8 人	・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	22 人
・再生不良性貧血	60 人	・膿疱性乾癬	11 人
・サルコイドーシス	83 人	・広範脊柱管狭窄症	8 人
・筋萎縮性側索硬化症	41 人	・原発性胆汁性肝硬変	60 人
・強皮症, 皮膚筋炎及び多発性筋炎	261 人	・重症急性膵炎	5 人
・特発性血小板減少性紫斑病	150 人	・特発性大腿骨頭壊死症	73 人
・結節性動脈周囲炎	26 人	・混合性結合組織病	70 人
・潰瘍性大腸炎	121 人	・原発性免疫不全症候群	14 人
・大動脈炎症候群	77 人	・特発性間質性肺炎	15 人
・ビュルガー病	41 人	・網膜色素変性症	78 人
・天疱瘡	48 人	・プリオン病	20 人
・脊髄小脳変性症	73 人	・原発性肺高血圧症	35 人
・クローン病	125 人	・神経線維腫症	1 人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	3 人	・亜急性硬化性全脳炎	6 人
・悪性関節リウマチ	33 人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	1 人
・パーキンソン病関連疾患	208 人	・特発性慢性肺血栓栓症(肺高血圧型)	30 人
・アミロイドーシス	7 人	・ライソゾーム病(ファブリー[Fabry]病)含む	1 人
・後縦靭帯骨化症	82 人	・副腎白質ジストロフィー	人
・ハンチントン病	3 人		

(注) 「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

3 病院・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	① 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 ② 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。	
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	230 回	
剖検の状況	剖検症例数 44 例	剖検率 12.1 %

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
トラクリア錠62.5mg特定使用成績調査	瀧原 圭子	循環器内科学	1,260,000	補 委 アクテリオンファーマシュー テイカルスジャパン(株)
クリアクター注 特定使用成績調査 急性肺塞栓症に対する全例調査	坂田 泰彦	循環器内科学	157,500	補 委 エーザイ(株)
アテインOTWリードの使用成績調査	堀 正二	循環器内科学	189,000	補 委 日本メドトロニック
静注用フローラン0.5mg 1.5mg使用成績調査	瀧原 圭子	循環器内科学	105,000	補 委 グラクソ・スミスクライン
注射用アナクトC2500単位使用成績調査	瀧原 圭子	循環器内科学	42,000	補 委 帝人ファーマ
メドトロニックInSync III マーキーの使用成績調査	堀 正二	循環器内科学	231,000	補 委 日本メドトロニック
心血管疾患における病態カ解明、治療法開発および予防法開発を目的とした遺伝子解析	堀 正二	循環器内科学	840,000	補 委 第一三共(株)
催不整脈右室心筋症(ARVC)の病態と治療に関する研究	堀 正二	循環器内科学	800,000	補 委 国立循環器病センター
心不全における酸化ストレスの関与の検討と治療薬の開発	大津 欣也	循環器内科学	500,000	補 委 大日本住友製薬(株)
光量子プロセスによる生体分子制御技術の創生	近藤 寛也	循環器内科学	35,000,000	補 委 千里ライフサイエンス振興財団
Lymphotoxin Alpha(LTA)の血管内皮細胞および平滑筋・単球細胞に与える効果とPravastatinによる抑制の検討(アトルバスタチンとの比較)	佐藤 洋	循環器内科学	4,700,000	補 委 三共(株)
急性心筋梗塞の危険因子・予後規程因子に関する分子疫学的研究	佐藤 洋	循環器内科学	1,200,000	補 委 国立循環器病センター
急性心筋梗塞患者における血中エリスロポエチン濃度と血管内皮前駆細胞数・慢性期梗塞領域血量の関連の検討	南野 哲男	循環器内科学	6,600,000	補 委 中外製薬(株)

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
リポソームを用いた新たな急性心筋梗塞治療法の開発	南野 哲男	循環器内科学	5,000,000	補 委	第一製薬(株)
虚血ストレス時におけるアストロサイトの機能評価と転写因子CREBの意義	北川 一夫	循環器内科学	2,600,000	補 委	小野薬品工業(株)
脳出血モデルに対するプラバスタチン、アトルバスタチン、ロスバスタチン投与の影響	北川 一夫	循環器内科学	6,000,000	補 委	三共(株)
初代神経細胞培養系を用いた、Cilostazol投与によるCREを介した遺伝子発現の検討	北川 一夫	循環器内科学	1,000,000	補 委	大塚製薬(株)
心臓リモデリングにおける交感神経活性化機序の解明とそれを利用した治療法の開発	堀 正二	循環器内科学	100,000	補 委	厚生労働省
心筋におけるストレス適応から破綻への分子メカニズムの解明と治療への応用	山口 修	循環器内科学	1,100,000	補 委	厚生労働省
心不全の病態における小胞体ストレス誘導性心筋細胞アポトーシスの重要性	塚本 蔵	循環器内科学	900,000	補 委	厚生労働省
心筋梗塞発症後の予後に関連する遺伝子多型セットの探索とその検証	佐藤 洋	循環器内科学	1,300,000	補 委	厚生労働省
心不全進展における小胞体ユビキチン・プロテアソーム系の役割の解明	南野 哲男	循環器内科学	1,700,000	補 委	厚生労働省
心筋保護に関わるp38MAPキナーゼを介する分子機構解明に基づく新しい心不全治療	西田 和彦	循環器内科学	1,100,000	補 委	厚生労働省
心筋TNF- α 産生制御機構の心不全発症における役割の解明と治療への応用	彦惣 俊吾	循環器内科学	1,800,000	補 委	厚生労働省
超音波法を用いた新しい拡張期心不全診断法の確立	坂田 泰史	循環器内科学	500,000	補 委	厚生労働省
心不全における心筋細胞死誘導の検討と創薬への応用	大津 欣也	循環器内科学	1,000,000	補 委	先進医薬研究振興財団
心不全におけるASK1阻害薬スクリーニングシステムの開発	大津 欣也	循環器内科学	12,000,000	補 委	共同研究(三菱ウエルファーマ)

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
心肥大と心不全の発症メカニズムにおけるオートファジーの役割の解明	彦惣 俊吾	循環器内科学	500,000	③補委 第20回 大阪ハートクラブ医学研究助成
心筋におけるTNF- α 産生制御機構の解明と心不全治療への応用	彦惣 俊吾	循環器内科学	2,000,000	③補委 財団法人武田科学振興財団
ミトコンドリア代謝異常と心筋細胞死	彦惣 俊吾	循環器内科学	600,000	③補委 財団法人代謝異常治療研究基金
カルシウムを中心とした心不全発症の分子機構の解明と治療への応用	武田 理宏	循環器内科学	1,000,000	③補委 かなえ医薬振興財団
カルシウムシグナリング蛋白の機能に対するニコチンの影響	堀 正二	循環器内科学	3,000,000	③補委 喫煙科学研究財団
Lymphotoxin Alpha(LTA)の血管内皮細胞および平滑筋・単球細胞に与える効果とPravastatinによる抑制の検討	佐藤 洋	循環器内科学	3,000,000	③補委 三共株式会社
血管炎治療のための人工ポリクローナルグロブリン製剤の開発と安全性確保に関する研究	今井 圓裕	腎臓内科	600,000	③補委 厚生労働省
アジア系人種における腎機能評価のための国際学術調査研究	今井 圓裕	腎臓内科	600,000	③補委 文部科学省
循環・呼吸器疾患病態・治療薬作用のモデルシステムの開発	川瀬 一郎	呼吸器内科	46,638,000	③補委 文部科学省
胸部悪性腫瘍に対するWT1ペプチドを用いた免疫療法	川瀬 一郎	呼吸器内科	1,200,000	③補委 厚生労働省
WT1抗原ペプチドを用いた癌の免疫療法の開発	川瀬 一郎	呼吸器内科	300,000	③補委 厚生労働省
細胞癌化における変異型EGFRの機能の解析と、肺癌における臨床への応用に向けた基礎的な検討	長友 泉	呼吸器内科	500,000	③補委 公益信託 大阪癌研究者育成基金
CXCR4及びCD9を標的とした小細胞肺癌における多剤耐性の克服	木島 貴志	呼吸器内科	2,000,000	③補委 大阪臨床免疫振興財団
Contact Inhibition導入による悪性胸膜中皮腫の増殖制御の試み	熊谷 融	呼吸器内科	1,600,000	③補委 日本学術振興会

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
肺傷害の病態における肺胞上皮細胞Bel-xLの役割	吉田 光宏	呼吸器内科	2,200,000	補 委	日本学術振興会
アレルギー疾患の遺伝子多型による発症予知とフラボノイドによる発症予防	田中 敏郎	免疫アレルギー内科	1,500,000	補 委	日本学術振興会
シグナル制御因子SOCS-4/5の機能解析	中川 れい子	免疫アレルギー内科	1,100,000	補 委	日本学術振興会
B型及びC型肝炎ウイルス感染者における新たな発がん予防法の確立のための肝がん発生等の病態解明に関する研究	林 紀夫	消化器内科学	66,600,000	補 委	厚生労働省
主にアジアに蔓延するウイルス性肝疾患の制御に資する為の日米合作的肝炎ウイルス基礎研究	林 紀夫	消化器内科学	2,000,000	補 委	厚生労働省
ウイルスを標的とする発がん予防の研究	林 紀夫	消化器内科学	7,000,000	補 委	厚生労働省
B型及びC型肝炎ウイルス感染者に対する治療の標準化に関する臨床研究	林 紀夫	消化器内科学	1,000,000	補 委	厚生労働省
B型及びC型肝炎ウイルス感染者に対する治療の標準化に関する臨床研究	竹原 徹郎	消化器内科学	2,500,000	補 委	厚生労働省
C型肝炎に対する樹状細胞の機能制御による細胞免疫療法の開発	林 紀夫	消化器内科学	13,500,000	補 委	文部科学省
脂肪細胞特異的分子アディポネクチンの抗肝発癌作用に関する研究	田村 信司	消化器内科学	6,900,000	補 委	文部科学省
体性幹細胞移植による内視鏡的消化管機能再建法の開発	辻 晋吾	消化器内科学	1,500,000	補 委	文部科学省
肝細胞癌におけるNK細胞感受性の分子機構の解明と腫瘍免疫治療法の開発	竹原 徹郎	消化器内科学	6,000,000	補 委	文部科学省
HBV遺伝子導入マウスでの酵素阻害剤誘発変異の解析とテーラーメイド医療への応用	竹原 徹郎	消化器内科学	900,000	補 委	文部科学省
標的分子探索に基づくシクロオキシゲナーゼ-2阻害剤併用化学療法の開発	辻井 正彦	消化器内科学	1,300,000	補 委	文部科学省

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
急性膵炎における低アディポネクチン血症の関与の解明と治療への応用の基礎研究	清原 達也	消化器内科学	1,900,000	補委 文部科学省
形質細胞様樹状細胞を用いた肝炎・肝癌免疫細胞療法の開発	考藤 達哉	消化器内科学	1,000,000	補委 文部科学省
C型慢性肝炎のCTL免疫モニタリングシステムの開発	平松 直樹	消化器内科学	1,200,000	補委 文部科学省
CD9を介するアポトーシス誘導機構を用いた消化器癌の新たな治療法の検討	筒井 秀作	消化器内科学	1,300,000	補委 文部科学省
転移性肝癌に対する樹状細胞による癌免疫治療と分子機構の解析	巽 智秀	未来医療センター	1,200,000	補委 文部科学省
接着分子SgIGSFの腫瘍腹膜播種形成への関与一病態解明から治療法開発まで一	渡部 健二	消化器内科学	1,500,000	補委 文部科学省
環状2本鎖HBV DNA合成に影響を及ぼすB型肝炎ウイルス変異に関する検討	大川 和良	消化器内科学	2,300,000	補委 文部科学省
白血病細胞のシグナルと分子標的治療	金倉 護	血液・腫瘍内科	14,300,000	補委 文部科学省
造血細胞の生存と分化制御機構の統合的解析	金倉 護	血液・腫瘍内科	22,100,000	補委 日本学術振興会
新規Gene-Trap法による多段階の白血病発症に関わる遺伝子単離の試み	松村 到	血液・腫瘍内科	4,900,000	補委 文部科学省
副作用の少ない人工的インターフェロンの開発	織谷健司	血液・腫瘍内科	6,700,000	補委 日本学術振興会
骨格筋芽細胞移植により誘導される心筋再生因子の同定と治療応用に関する実験的研究	福嶋 教偉	心臓血管外科	5,700,000	補委 日本学術振興会
新しい脱細胞化技術による自己組織化する異種生体弁の開発	市川 肇	心臓血管外科	6,900,000	補委 日本学術振興会
補助人工心臓によるbridge to recoveryを達成する再生治療法の確立	松宮 護郎	心臓血管外科	7,300,000	補委 日本学術振興会

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
生体吸収性心血管修復用素材による再生治療技術	澤 芳樹	心臓血管外科	2,000,000	補 委	国立循環器病センター
心筋再生治療研究開発	澤 芳樹	心臓血管外科	121,039,800	補 委	新エネルギー・産業技術総合開発機構
再生医療の早期実用化を目指した再生評価技術開発	澤 芳樹	心臓血管外科	8,410,500	補 委	技術研究組合医療福祉機器研究所
感染リスクの排除、同一性の確保、免疫反応、がん化等の抑制及び培地等による有害作用の防止に関する研究	澤 芳樹	心臓血管外科	4,250,000	補 委	厚生労働省
幹細胞等を用いた細胞組織医療機器の開発と評価技術の標準化	澤 芳樹	心臓血管外科	4,000,000	補 委	厚生労働省
血液凝固異常症に関する調査研究	川崎 富夫	心臓血管外科	1,000,000	補 委	厚生労働省
肺癌における微小リンパ節転移と血中癌細胞の検出のための分子生物学的方法の確立(肺癌の治療成績向上を目指した Translational research)	奥村明之進	呼吸器外科	967,941	補 委	財団法人大阪コミュニティ財団
肺移植後の拒絶反応の診断とその治療効果モニタリングの方法の開発—末梢血リンパ球表面抗原の解析を用いて—	南 正人	呼吸器外科	1,300,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
進行病期および再発胸腺腫に対するステロイド治療の意義と作用機序の解明—特に腫瘍上皮細胞のグルココルチコイド受容体の発現に注目して—	塩野裕之	呼吸器外科	1,100,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
がんの薬剤に対する耐性機構の解明—GISTのイマチニブに対する抵抗性獲得機構をモデルとして—	西田俊朗	消化器外科	1,700,000	補 委	文部科学省
術後補助化学療法における抗癌剤感受性試験(CD-DST法)の有用性に関する研究	北川透	消化器外科	1,400,000	補 委	文部科学省
間葉系腫瘍に於ける細胞内シグナル伝達系活性化と腫瘍増殖機構の解明	西田俊朗	消化器外科	1,700,000	補 委	文部科学省
デスレセプターリモデリングによるアポトーシス抵抗性を応用した異種膵島移植法の確立	伊藤壽記	消化器外科	2,000,000	補 委	文部科学省
機能グライコミックスによる網羅的解析および糖鎖修飾を応用した異種膵島移植法の確立	川本弘一	消化器外科	1,370,000	補 委	文部科学省

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
I型糖尿病に対する新しいブタ異種膵島移植療法の開発	川本弘一	消化器外科	1,000,000	③補委 膵臓病研究財団
I型糖尿病根治療法としての異種膵島移植法の確立 -機能グライコミックスによるブタ膵島抗原性解析および糖鎖修飾を応用した脱抗原化ブタ膵頭の作成-	出口貴司	消化器外科	500,000	③補委 膵臓病研究財団
末梢血循環がん細胞の細胞遺伝子学的根拠とその臨床的意義	西田俊朗	消化器外科	5,000,000	③補委 上原記念生命科学財団
胃癌手術後の腸管運動機能低下に伴う腹痛、腹部膨満感に対する大建中湯顆粒の効果	高橋剛	消化器外科	500,000	③補委 日本漢方医学助成金
学部生を対象とした内視鏡手術トレーニング指導者(チューター)の育成	中島清一	消化器外科	1,600,000	③補委 山本教育改革基金
乳がんの個性診断と分子病態解明	野口眞三郎	乳腺内分泌外科	10,300,000	③補委 文部科学省
乳がん易罹患性の診断とそれに基づく予防法に関する研究	玉木康博	乳腺内分泌外科	10,982,000	③補委 厚生労働省
神経芽腫に対するRNA干渉を用いた分子標的治療法の開発	福澤正洋	小児外科	1,100,000	③補委 日本学術振興会
先天性横隔膜ヘルニア肺低形成に対する遺伝子治療の研究	鎌田振吉	小児外科	1,700,000	③補委 日本学術振興会
網膜刺激型電極による人工視覚システムの開発	田野 保雄	眼科	27,717,000	③補委 厚生労働省
WTI癌抗原ペプチドを用いた癌の免疫療法の開発	田野 保雄	眼科	300,000	③補委 厚生労働省
網膜脈絡膜・視神経萎縮症に関する調査研究	田野 保雄	眼科	2,000,000	③補委 厚生労働省
網膜刺激型電極による人工視覚システムの開発	不二門 尚	眼科	22,000,000	③補委 厚生労働省
小児重症視覚障害の早期治療・リハビリテーションによる自立支援に関する研究	不二門 尚	眼科	2,000,000	③補委 厚生労働省

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
経角膜電気刺激による網膜視神経保護の臨床研究	不二門 尚	眼科	2,200,000	補 委	文部科学省
不正乱視に対する治療的屈折矯正手段の基礎的研究	前田 直之	眼科	1,700,000	補 委	文部科学省
眼局所薬物治療の開発	大黒 伸行	眼科	1,300,000	補 委	文部科学省
加齢黄斑変性の病因解明と治療法開発	瓶井 資弘	眼科	1,300,000	補 委	文部科学省
未熟児網膜症の病態解明と薬物治療の開発	日下 俊次	眼科	1,100,000	補 委	文部科学省
ゼブラフィッシュ疾患モデルによる遺伝性網膜疾患における視細胞死の機構の解明	辻川 元一	眼科	4,900,000	補 委	文部科学省
重症ドライアイにおける眼表面ムチンの発現についての検討	堀 裕一	眼科	1,500,000	補 委	文部科学省
眼内線維性増殖の発症機序の解明と治療法の開発	生野 恭司	眼科	800,000	補 委	文部科学省
毛様体扁平部各点参照電極を用いた網膜貫通型電流刺激による人工視覚の検討	坂口 裕和	眼科	800,000	補 委	文部科学省
Retinal fascin遺伝子変異による網膜色素礎変性の発症機序の解明	西信 良嗣	眼科	1,000,000	補 委	文部科学省
自然蛍光を応用した黄斑疾患の病因の解明、診断ならびに治療への応用	沢 美喜	眼科	1,200,000	補 委	文部科学省
上皮幹細胞を保持した培養上皮細胞シート作成の体系的技術の開発	田野 保雄	眼科	5,000,000	補 委	テルモ科学技術振興財団
網膜中心静脈閉塞症に対する新しい薬物療法の開発	瓶井 資弘	眼科	800,000	補 委	大阪コミュニティ財団
コンタクトレンズに付着するムチンの検討および眼表面にあたる影響	堀 裕一	眼科	450,000	補 委	大阪アイバンク

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
幹細胞システムの角膜再生医療への応用	井上 智之	眼科	450,000	補委 大阪アイバンク
ラット内耳に発現するKCNE/KCNQカリウムチャネルの構造・機能解析	土井 勝美	耳鼻咽喉科	1,200,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
前庭代償の分子メカニズムとめまい治療への応用	堀井 新	耳鼻咽喉科	1,000,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
ほ乳類内耳発生におけるNotch伝達系の役割の解明—再生医療への応用をめざして	村田 潤子	耳鼻咽喉科	2,500,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
前庭機能異常に関する調査	久保 武	耳鼻咽喉科	1,200,000	補委 厚生労働省
WT1癌抗原ペプチドを用いた癌の免疫療法の開発	久保 武	耳鼻咽喉科	300,000	補委 厚生労働省
幹細胞・増殖因子を利用した新規ハイブリッド人工骨の開発	吉川秀樹	整形外科	7,670,000	補委 日本学術振興会
幹細胞等を用いた細胞組織医療機器の開発と評価技術の標準化	吉川秀樹	整形外科	2,000,000	補委 厚生労働省
高悪性度軟部腫瘍に対する標準的治療法の確立に関する研究	吉川秀樹	整形外科	600,000	補委 厚生労働省
関節リウマチ・骨粗鬆症の重症化防止治療開発研究	吉川秀樹	整形外科	23,000,000	補委 厚生労働省
WT1癌抗原ペプチドを用いた癌の免疫療法の開発	吉川秀樹	整形外科	300,000	補委 厚生労働省
細胞周期関連遺伝子INK4ファミリーによる抹消神経損傷後の軸索伸展作用	村瀬 剛	整形外科	1,000,000	補委 日本学術振興会
関節リウマチ上肢人工関節開発に関する研究	村瀬 剛	整形外科	1,500,000	補委 厚生労働省
表皮特異的な強制的アレルギー遺伝子発現系による免疫応答の解析	片山 一朗	皮膚科	2,200,000	補委 独立行政法人日本学術振興会

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
乾癬発症に必要な表皮Stat3活性化の機序および表皮免疫細胞間クロストークの解析	佐野 栄紀	皮膚科	8,000,000	補 委	独立行政法人 日本学術振興会
MAPKシグナル伝達系を用いた乾癬の病態モデルの作成と新たな治療法の開発	樽谷 勝仁	皮膚科	2,200,000	補 委	独立行政法人 日本学術振興会
部位特異的な上皮間葉系相互作用を通じた皮膚疾患病態解明及び再生医療に関する研究	山口 裕史	皮膚科	8,100,000	補 委	文部科学省
末梢神経端側縫合部における側副神経軸索誘導の分子機構の解明	辻 隆治	皮膚科	1,000,000	補 委	文部科学省
ヒト表皮角化細胞の増殖・分化における核移行制御の分子機構	梅垣 知子	皮膚科	1,300,000	補 委	文部科学省
結節性硬化症の分子病態の解明と新たな病態モデルの作成	金田 眞理	皮膚科	1,500,000	補 委	独立行政法人 日本学術振興会
アトピー性皮膚炎の発症および悪化因子の同定と発症予防・症状悪化防止のための生活環境整備に関する研究	片山 一朗	皮膚科	2,000,000	補 委	厚生労働省
神経皮膚症候群に関する調査研究	片山 一朗	皮膚科	1,000,000	補 委	厚生労働省
WT1癌抗原ペプチドを用いた癌の免疫療法の開発	片山 一朗	皮膚科	300,000	補 委	厚生労働省
PETを用いた脳賦活検査による軽度認知機能障害患者の早期診断法の確立	数井裕光	神経科精神科	1,100,000	補 委	文部科学省
脳磁図による機能画像を用いた統合失調症の磁気刺激療法的作用機作と有効性予測の検討	石井良平	精神医学	2,600,000	補 委	文部科学省
軽度認知障害(MCI)における脳磁場活動の検討	石井良平	精神医学	300,000	補 委	財団法人大阪老年 性痴呆医学研究会
結節性硬化症患者におけるてんかん性異常波の脳磁図解析	石井良平	精神医学	1,500,000	補 委	大阪難病研究財団
統合失調症における社会・認知・生理機能・脳画像と疾患感受性遺伝子多型に関する研究	岩瀬真生	精神医学	800,000	補 委	文部科学省

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
Prefrontal dysfunction among the schizophrenia patients in Stroop word-color interference: an MEG study	岩瀬真生	精神医学	200,000	補 委	財団法人大阪老年性痴呆医学研究会
脳磁図による統合失調症の前頭前野の機能異常の解析	岩瀬真生	精神医学	500,000	補 委	大阪難病研究財団 海外派遣助成
筋強直性ジストロフィー症の病態に関する研究-筋変性機序解明から治療を目指して	高橋正紀	神経内科・脳卒中科	1,900,000	補 委	文部科学省
筋ジストロフィーおよびその関連する疾患の病態生理の解明と治療薬物の開発に関する研究(分担研究課題名:筋強直性ジストロフィー症の病態生理および薬物治療に関する研究)	高橋正紀	神経内科・脳卒中科	1,000,000	補 委	厚生労働省
疾患関連たんぱく質解析研究	佐古田三郎	神経内科・脳卒中科	20,000,000	補 委	厚生労働省
筋萎縮性側索硬化症の画期的診断・治療に関する研究	佐古田三郎	神経内科・脳卒中科	800,000	補 委	厚生労働省
免疫性神経疾患に関する調査研究	佐古田三郎	神経内科・脳卒中科	500,000	補 委	厚生労働省
脳梗塞急性期から開始する筋萎縮阻止薬療法が慢性期運動機能に与える影響に関する研究	大江洋史	神経内科・脳卒中科	800,000	補 委	厚生労働省
高齢社会で増加する神経疾患の運動障害計測・診断支援機器の開発	佐古田三郎	神経内科・脳卒中科	63,500,000	補 委	独立行政法人 医薬基盤研究所
セマフォリンを標的とした多発性硬化症治療と診断キットの開発	中辻裕司	神経内科・脳卒中科	23,790,000	補 委	独立行政法人 医薬基盤研究所
「神経カラム電気刺激による視覚再建のための多角的アプローチ」	吉峰 俊樹	脳神経外科	9,000千円	補 委	文部科学省
血液脳関門貫通型TAT蛋白融合インターフェロンβを用いた新規悪性グリオーマ治療法	泉本 修一	脳神経外科	1,200,000	補 委	文部科学省
3テスラMRIトラクトグラフィによる半卵円中心の神経線維・体性機能局在の検証	橋本 直哉	脳神経外科	2,200,000	補 委	文部科学省
嗅粘膜由来神経前駆細胞を用いた神経再生の基礎的研究	貴島 晴彦	脳神経外科	2,100,000	補 委	文部科学省科学研究補助金

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
局所脳律動解析による非侵襲的言語機能局在同定法の確立と言語機能再建の試み	平田 雅之	脳神経外科	1,000,000	補委 文部科学省科
WT1癌抗原ペプチドを用いた癌の免疫療法の開発	吉峰 俊樹	脳神経外科	300,000	補委 厚生労働省
悪性グリオーマにおけるWT1発現解析に基づいた至適WT1ペプチド免疫療法の検討	泉本 修一	脳神経外科	1,000,000	補委 第26回がん集学的治療研究財団
脳磁図の統計学的解析法の開発と検証	平田 雅之	脳神経外科	2,075,000	補委 平成18年度日本学術振興会
悪性神経膠腫に対するDNA診断に基づくテーラーメイド療法の開発	シャミマ ナスリン	脳神経外科	120,000	補委 医学部医学科国際交流基金事業助成
チャンネルタンパク質の動態・構造と麻酔の作用メカニズム—個体と分子の統合に向けて—	真下節	麻酔科	4,600,000	補委 厚生労働省
脳死に伴う心機能低下のメカニズムの解明	林行雄	麻酔科	2,700,000	補委 厚生労働省
経皮酸素飽和度持続モニタリングによる小児睡眠時呼吸障害の非侵襲的診断基準の確立	宮本善一	麻酔科	700,000	補委 文部科学省
デユイ型核酸の遺伝子導入による神経因性疼痛の病態解明と治療法の開発	阪上学	手術部	1,100,000	補委 文部科学省
神経因性疼痛に対するRNAeditingの効果	中江文	麻酔科	2,000,000	補委 文部科学省
局所麻酔薬と5-HT3受容体との相互作用について	植田一吉	麻酔科	1,260,000	補委 厚生労働省
光トポグラフィーを用いた幻肢痛発症機構の解明とその治療応用	住谷昌彦	麻酔科	2,000,000	補委 厚生労働省
子宮頸部頸癌の進行に関与する遺伝子の同定と機能解析および分子治療への応用	榎本隆之	産婦人科	2,200,000	補委 日本学術振興会

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
新生児低酸素性虚血性脳障害モデルを用いた神経幹細胞の動態と活性化の解析	金川武司	産婦人科	1,700,000	③補委 日本学術振興会
がんの早期診断および予後診断に役立つ腫瘍マーカーの開発	榎本隆之	産婦人科	250,000	③補委 厚生労働省
産褥期における母体のストレス軽減に対するコーヒー摂取の効果に関する検討	下屋浩一郎	産婦人科	500,000	③補委 社団法人 日本コーヒー協会
「ホルモン受容機構異常に関する調査研究」	大藪恵一	小児科	2,000,000	③補委 厚生労働省
「WTO癌抗原ペプチドを用いた癌の免疫療法の開発」	大藪恵一	小児科	300,000	③補委 厚生労働省
「無ガンマグロブリン血症原因遺伝子群(LRRC8)の機能解析」	太田秀明	小児科	700,000	③補委 文部科学省
「小児難治性肝疾患における肝細胞変性と線維化の分子生物学的検討」	虫明聡太郎	小児科	1,100,000	③補委 文部科学省
「新生児低酸素性虚血性脳症におけるプロスタグランジンD2の脳血流・脳浮腫への影響」	和田和子	小児科	2,500,000	③補委 文部科学省
「特発性大腿骨頭壊死症の予防と治療の標準化を目的とした総合研究」	中島滋郎	小児科	800,000	③補委 厚生労働省
「サリドマイド症候群の発症機序に関する研究」	酒井規夫	小児科	2,200,000	③補委 文部科学省
「ライソゾーム病(ファブリー病含む)に関する調査研究」	酒井規夫	小児科	1,300,000	③補委 厚生労働省
「ライソゾーム酵素欠損症の病態解析と新しい経口治療薬の開発」	酒井規夫	小児科	1,500,000	③補委 厚生労働省
「プロスタグランジンD2を鍵とした脱髄疾患の病態解析と治療法の開発」	谷池雅子	小児科	1,300,000	③補委 文部科学省
「遺伝性脱髄疾患モデルにおける抹消神経病態の解明と治療法の開発」	下野九理子	小児科	1,900,000	③補委 文部科学省

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
マウス・ヒト前立腺幹細胞同定に関する細胞生物学的研究	辻村 晃	泌尿器科	700,000	補 委	日本学術振興会
男性不妊症の新たな検査法の開発	宮川 康	泌尿器科	7,200,000	補 委	日本学術振興会
腎癌における核マトリックスタンパクHMG1(Y)の発現と役割に関する検討	野々村祝夫	泌尿器科	1,100,000	補 委	日本学術振興会
ラット腎移植モデルにおける経口免疫寛容の導入	市丸 直嗣	泌尿器科	700,000	補 委	文部科学省
前立腺生検洗浄液を用いた多種遺伝子のプロモーター領域のメチル化の検討	中山 雅志	泌尿器科	700,000	補 委	文部科学省
ヒト陰茎海綿体平滑筋細胞株の樹立に関する研究	高尾 徹也	泌尿器科	1,500,000	補 委	文部科学省
肝腫瘍化学塞栓療法における薬剤溶出性高吸水性ポリマーを用いたDDSの開発	大須賀 慶悟	放射線科	1,700,000	補 委	文部科学省
前立腺癌高線量率組織内照射の治療精度向上に関する研究	吉岡靖生	放射線治療科	800,000	補 委	文部科学省
転写因子制御による遺伝子放射線治療	中村聡明	放射線治療科	1,800,000	補 委	文部科学省
放射線治療期間の短縮に関する多施設共同臨床試験の確立に関する研究	井上武宏	放射線治療科	800,000	補 委	厚生労働省
複数学問領域を融合する総合的な分子イメージング研究に係る人材育成	畑澤順	核医学診療科	25,000,000	補 委	文部科学省
光分解能PET/MRI一体型悪性腫瘍診断装置の開発	畑澤順	核医学診療科	10,000,000	補 委	独立行政法人 医薬基盤研究所
PETを用いた心臓イオンチャンネルイメージングの研究	畑澤順	核医学診療科	3,106,000	補 委	文部科学省
複合組織再生技術とコンピューター支援外科技術によるバイオ人工関節の開発	畑澤順	核医学診療科	1,000,000	補 委	文部科学省

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
WTI癌抗原ペプチドを用いた癌の免疫療法	畑澤順	核医学診療科	300,000	①補委 厚生労働省
脳血管障害における血流・代謝の定量測定	畑澤順	核医学診療科	1,000,000	補①委 国立循環器病センター
甲状腺濾胞癌の穿刺吸引核酸診断法の開発	高野徹	臨床検査部	2,000,000	①補委 文部科学省
厚生労働省難治性疾患克服研究事業間脳下垂体機能障害調査研究班	巽圭太	臨床検査部	1,400,000	①補委 厚生労働省
甲状腺ホルモンのリンパ球サイトカイン産生に対する影響に関する研究	日高洋	臨床検査部	1,600,000	①補委 文部科学省
甲状腺乳頭癌の新しい診断マーカーの測定法の開発	中田幸子	臨床検査部	2,000,000	①補委 日本科学技術振興機構
緊急事態対応医学の体系化とシステム整備：院内救急からテロ・災害時の地域連携まで	嶋津 岳士	高度救命救急センター	2,900,000	①補委 文部科学省
感染侵襲時の酸素代謝異常・臓器不全発症機転解明とその治療に関する研究	鎌方安行	高度救命救急センター	3,700,000	①補委 文部科学省
ショック時における新しい人工赤血球(カプセル化Hb)に関する研究	池側均	高度救命救急センター	700,000	①補委 文部科学省
腹部内臓血行動態と蘇生後臓器機能障害との関連からみた新しい心肺蘇生法の開発	杉本壽	高度救命救急センター	1,100,000	①補委 文部科学省
ラット肺微小循環機能のリアルタイム計測技術の開発と応用-脂肪塞栓の病態・治療	嶋津 岳士	高度救命救急センター	500,000	①補委 文部科学省
白血球のアクアホリンを介した全身性炎症反応の制御に関する研究	小倉裕司	高度救命救急センター	1,300,000	①補委 文部科学省
神経栄養因子分泌促進を誘導する脈絡叢上衣細胞転写因子の解明-転写因子の遺伝子導入による	松本直也	高度救命救急センター	1,700,000	①補委 文部科学省
侵襲時全身性炎症反応における腸内細菌叢評価、Synbiotics効果に関する研究	清水健太郎	高度救命救急センター	1,100,000	①補委 文部科学省

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
クラッシュ症候群における病態と治療に関する研究	早川航一	高度救命救急センター	2,000,000	補 委	文部科学省
難治性C型慢性肝炎に対する先天免疫制御に基づく個別化治療の開発	笠原彰紀	総合診療部	2,340,000	補 委	文部科学省
腫瘍幹細胞を規定する因子の解析;腫瘍幹細胞の可視化を目指して	森井 英一	病理部	1,800,000	補 委	文部科学省
「MRSAプール」の概念に基づく先制攻撃的かつ重点的な感染対策法の確立」	橋本章司	感染制御部	1,100,000	補 委	文部科学省
悪性骨腫瘍の転移制御機構の解明と抗転移療法の開発	名井 陽	未来医療センター	1,500,000	補 委	文部科学省
複合組織再生技術とコンピューター支援外科技術によるバイオ人工関節の開発	名井 陽	未来医療センター	48,610,000	補 委	科学技術振興機構
転移性肝癌に対する樹状細胞による癌免疫治療と分子機構の解析	巽 智秀	未来医医療センター	1,200,000	補 委	文部科学省
ゲノム解析によるパーキンソン病、遺伝子同定と創薬	戸田達史	遺伝子診療部	56,000,000	補 委	(独)科学技術振興機構
パーキンソン病関連遺伝子探索と機能解析	戸田達史	遺伝子診療部	7,000,000	補 委	文部科学省
疾患関連糖鎖・タンパク質の統合的機能解析	戸田達史	遺伝子診療部	6,000,000	補 委	文部科学省
筋ジストロフィーに関連する疾患の病態解明と治療法に関する研究	戸田達史	遺伝子診療部	4,000,000	補 委	厚生労働省
新規抗パーキンソン病薬ゾニサミドの神経保護作用に関する臨床研究	戸田達史	遺伝子診療部	4,000,000	補 委	厚生労働省
重難病患者の地域医療体制の構築に関する研究	戸田達史	遺伝子診療部	2,000,000	補 委	厚生労働省
神経変性疾患に関する調査研究	戸田達史	遺伝子診療部	1,200,000	補 委	厚生労働省

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
精神遅滞リサーチ・リソースの拡充と病因・病態解明を目指した遺伝学的研究	戸田達史	遺伝子診療部	1,200,000	補 ○委	厚生労働省
				補	
				委	
				補	
				委	
				補	
				委	
				補	
				委	
				補	
				委	
				補	
				委	

計223件

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請した、平成18年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Atherosclerosis (2006年185巻2号)	Impact of atherosclerosis-related gene polymorphisms on mortality and recurrent events after myocardial infarction	Mizuno, H. Hori, M	循環器内科
The American Journal of Cardiology (2006年98巻4号)	Usefulness of Plasma Brain Natriuretic Peptide Concentration for Predeicting Subsequent Left Ventricular Remodeling After Coronary Angioplasty in Patients With Acute Myocardial Infarction	Sakata, Y. Hori, M	循環器内科
NATURE GENETICS (2006年38巻8号)	A functional SNP in PSMA6 confers risk of myocardial infarction in the Japanese population	Sato, H. Hori, M.	循環器内科
Stroke (2006年37巻2号)	Low-dose aspirin for prevention of stroke in low-risk patients with atrial fibrillation: Japan Atrial Fibrillation Stroke Trial	Sato, H. Hori, M.	循環器内科
Expert Opinion on Pharmacotherapy (2006年7巻16号)	Acute heart failure: inotropic agents and their clinical uses	Hori, M	循環器内科
Antioxid Redox Signal. (2006年8巻9-10号)	The role of apoptosis signal-regulating kinase 1 in cardiomyocyte apoptosis.	Nishida, K. Otsu, K	循環器内科
J. Biol. Chem. (2006年281巻44号)	Oxidative stress causes heart failure with impaired mitochondrial respiration	Yamaguchi, O. Otsu, K	循環器内科
Am. J. Cardiol. (2006年97巻11号)	Usefulness of High-Resolution Real-time Three-dimensional Echocardiography to Visualize the Left Ventricular Endocardial Surface in Myocardial Infarction	Otsu, K. Hori, M	循環器内科
NATURE (2006年441巻7089号)	Differential roles of MDA5 and RIG-I helicases in the recognition of RNA viruses	Yamaguchi, O. Otsu, K	循環器内科
Journal of Human Genetics (2006年51巻12号)	Identification of a novel non-coding RNA, MIAT, that confers risk of myocardial infarction	Sato, H. Hori, M.	循環器内科
DNA Cell Biol Sep. 25: 530-540, 2006	The extracellular domain of p185(c-neu) induces density-dependent inhibition of cell growth in malignant mesothelioma cells and reduces growth of mesothelioma in vivo.	米田 勉	呼吸器内科
Cancer Res Oct.66: 9557-9565, 2006	Absence of CD9 Enhances Adhesion-Dependent Morphologic Differentiation, Survival, and Matrix Metalloproteinase-2 Production in Small Cell Lung Cancer Cells	斎藤宜之	呼吸器内科
癌と化学療法 Aug 33: 1119-1123, 2006	Clinical efficacy of TS-1 in refractory bone recurrence of a postoperative squamous lung cancer patient	大崎 匡	呼吸器内科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Neoplasia Oct 8: 817-825, 2006	Overexpression of PIAS3 suppresses cell growth and restores the drug sensitivity of human lung cancer cells in association with PI3-K/Akt inactivation	緒方嘉隆	呼吸器内科
DNA Cell Biol Apr 25: 246-251, 2006	The gefitinib-sensitizing mutant epidermal growth factor receptor enables transformation of a mouse fibroblast cell line	長友 泉	呼吸器内科
DNA Cell Biol 2007 Mar;26(3):178-85.	Gefitinib-sensitive EGFR lacking residues 746-750 exhibits hypophosphorylation at tyrosine residue 1045, hypoubiquitination, and impaired endocytosis	古川 貢	呼吸器内科
日本内科学会雑誌 Mar 10;95(3):529- 33.	Present status of and new trends in therapy for lung cancer	川瀬一郎	呼吸器内科
Biochem Biophys Res Commun. Oct 341: 684-690, 2006	Anti-fibrotic effects of theophylline on lung fibroblasts.	矢野 幸洋	呼吸器内科
Scad J Rheumatol (35:243-245,2006)	Successful treatment with intravenous cyclophosphamide pulse therapy of severe intestinal involvement in Wegernaer's granulomatosis.	Y.Kuwahara	免疫アレルギー内 科
Biochem Biophys Res Commun (340:1-7,2006)	Luteolin, a flavonoid, inhibits AP-1 activation by basophils.	T. Hirano	免疫アレルギー内 科
Int Arch Allergy Immunol (140:150- 156,2006)	Luteolin, a flavonoid, inhibits CD40 ligand expression by activated human basophils.	T. Hirano	免疫アレルギー内 科
Biochem Biophys Res Commun(342:1413 -1416,2006)	IL-18 gene polymorphisms affect IL-18 production capability by patient with tuberculosis.	J. Arimitsu	免疫アレルギー内 科
Inflammation Regeneration 26:453-459,2006)	Analysis of cytokine-driven serum amyloid A expression based on the clinical results of IL-6 blocking therapy: a new cis-acting mechanisms of Stat3.	K. Hagihara	免疫アレルギー内 科
J Cell Physiol.(207:428- 436,2006)	SOCS-2 interferes with myotube formation and potentiates osteoblast differentiation through up-regulation of JunB in C2C12 cells.	X.Oyang	免疫アレルギー内 科
J Hepatol(44: 267 -274) 2006	Viral covalently closed circular DNA in a non-transgenic mouse model for chronic hepatitis B virus replication	竹原 徹郎	消化器内科
J Immunother (29: 67-77) 2006	Quick generation of fully mature dendritic cells from monocytes with OK432, low-dose prostanoid and interferon- γ as potent immune enhancers	榊原 充	消化器内科
Hepatol Res 34: 156-162, 2006	Reduced expression and functional impairment of Toll-like receptor 2 on dendritic cells in chronic hepatitis C virus infection	薬師神 崇行	消化器内科
J Hepatol 45: 190- 196, 2006	Enhanced ability of peripheral invariant natural killer T cells to produce IL-13 in chronic hepatitis C virus infection	井上 路代	消化器内科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Hepatology Res 35: 185-189, 2006.	Should aged patients with chronic hepatitis C be treated with interferon and ribavirin combination therapy?	平松 直樹	消化器内科
Biochem Biophys Res Commun 346: 1125-1130, 2006.	Suppressive effect on hepatocyte differentiation of hepatitis C virus core protein.	法水 淳	消化器内科
J Gastroenterol 41: 862-872, 2006.	Early decline of hemoglobin correlates with progression of ribavirin-induced hemolytic anemia during interferon plus ribavirin combination therapy in patients with chronic hepatitis C	小瀬 嗣子	消化器内科
Am J Physiol Gastrointest Liver Physiol. 290: G1041-G1050, 2006	Endothelin-1, an ulcer inducer, promotes gastric ulcer healing via mobilizing gastric myofibroblasts and stimulates production of stroma-derived factors.	西田 勉	消化器内科
Am J Gastroenterol. 101: 70-75 2006	Oral Glucose Tolerance Test Predicts Prognosis of Patients With Liver Cirrhosis.	西田 勉	消化器内科
Hepatology. Feb;43(2):276-86. 2006	C/EBPalpha and HNF6 protein complex formation stimulates HNF6-dependent transcription by CBP coactivator recruitment in HepG2 cells.	吉田 雄一	消化器内科
Intern Med. 45 183-191 2006	Immunopathogenesis of hepatitis C virus infection: multifaceted strategies Subverting innate and adaptive immunity.	考藤 達哉	消化器内科
Intervirology 49:58-63 2006	Impaired function of dendritic cells circulating in patients infected with hepatitis C Virus who have persistently normal alanine aminotransferase levels.	考藤 達哉	消化器内科
Journal of Hepatology 44 142-150 2006	Pamidronate induced anti-proliferative, apoptotic, and anti-migratory effects in Hepatocellular carcinoma	和田 朗	消化器内科
Clin Cancer Res 12 6043-6048 2006	Hepatoma-Derived Growth Factor Is a Novel Prognostic Factor for Patients with Pancreatic Cancer	宇山 宏和	消化器内科
J Cancer Clin Oncol 132: 627-633 2006	Expression and prognostic role of RhoA GTPases in hepatocellular carcinoma	福井 浩司	消化器内科
Gastroenterol 21 1671-1680, 2006	Helicobacter pylori eradication to prevent gastric cancer: underlying molecular and cellular mechanisms.	辻 晋吾	消化器内科
Development (2006年4月 Vol.133 No.10)	Tracing the first waves of lymphopoiesis in mice.	横田貴史	血液・腫瘍内科
J Cell Biochem (2006年5月 Vol.98 No.1)	Identification of amino-terminal region of adiponectin as a physiologically functional domain.	氏家秀敏	血液・腫瘍内科
J Thromb Haemost (2006年6月 Vol.4 No.6)	Critical role of ADP interaction with P2Y12 receptor in the maintenance of alphaIIb beta3 activation: association with Rap1B activation.	釜江 剛	血液・腫瘍内科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Leuk Lymphoma (2006年10月 Vol.47 No.10)	Successful treatment of refractory subcutaneous panniculitis-like T-cell lymphoma with allogeneic peripheral blood stem cell transplantation from HLA-mismatched sibling donor.	一井倫子	血液・腫瘍内科
Stem Cells (2006 年11月 Vol.24 No. 11)	HOX decoy peptide enhances the ex vivo expansion of human umbilical cord blood CD34+ hematopoietic stem cells/hematopoietic progenitor cells.	田中宏和	血液・腫瘍内科
Asian Cardiovasc Thorac Ann. 2006 Jun;14(3):247-9.	Graft replacement and muscle wrap for infected aneurysm of thoracic aorta.	Sakaki M.	心臓血管外科
Transplant 2006 Mar 27;81(6):902- 7.	Angiogenic Gene Cell Therapy using Suicide Gene System Regulates the Effect of Angiogenesis in Infarcted Rat Heart.	Miyagawa S.	心臓血管外科
Cardiovasc Res. 2006 Feb 1;69(2):466-75.	Longer preservation of cardiac performance by sheet-shaped myoblast implantation in dilated cardiomyopathic hamsters.	Kondoh H.	心臓血管外科
Surg Today 2007 June ;37(7):564-9.	Preoperative assessment of congestive liver dysfunction using technitium-99m galactosyl human serum albumin liver scintigraphy in patients with severe valvular disease.	Nishi H.	心臓血管外科
Surg Today 2006;36:321-326	Effect of a Polymorphonuclear Elastase Inhibitor (Sivelestat Sodium) on Acute Lung Injury After Cardiopulmonary Bypass: Findings of a Double-Blind Randomized Study.	Ryugo M.	心臓血管外科
J Thorac Cardiovasc Surg. 2006 Oct;132(4):918- 24.	Grafted skeletal myoblast sheets attenuate myocardial remodeling in pacing-induced canine heart failure model.	Hata H.	心臓血管外科
Surg Today 2006;36(7):615-8.	Left ventricular assist system through the left ventricle for acute myocardial infarction: report of a case.	Hata H.	心臓血管外科
Ann Thorac Surg 2007 Aug;84(2):654 -5	Surgical treatment for mitral stenosis in Scheie's syndrome (mucopolysaccharidosis type I-S): Report of a case	Kitabayashi K	心臓血管外科
J Thorac Cardiovasc Surg. 2006 Mar;131(3):64 4-650.	ONO-5046 attenuation of delayed motor neuron death and effect on the induction of brain-derived neurotrophic factor, phosphorylated extracellular signal-regulated kinase, and caspase3 after spinal cord ischemia in rabbits.	Yamauchi T.	心臓血管外科
Stroke 2006 Apr;37(4):108 1-1086.	Neuroprotective Effects of Activated Protein C Through Induction of Insulin-Like Growth Factor-1 (IGF-1), IGF-1 Receptor, and Its Downstream Signal Phosphorylated Serine-Threonine Kinase After Spinal Cord Ischemia in Rabbits.	Yamauchi T.	心臓血管外科
Ann Thorac Cardiovasc Surg. 2006 Jun;12(3):179 -83.	Paraplegia and paraparesis after descending thoracic aortic aneurysm repair: a risk factor analysis.	Yamauchi T.	心臓血管外科
Surg Today 2006;36(7):596- 601.	Large vessel - sternum adhesion after cardiac surgery; a risk-factor analysis.	Yamauchi T.	心臓血管外科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Amyotrophic Lateral Sclerosis 2006;7 (supl 1):143	Effects of Activated Protein C on Insulin-Like Growth Factor-1 . IGF-1 Receptor. and Akt. And its neuroprotective effects after Spinal Cord Ischemia	Yamauchi T.	心臓血管外科
J Heart Lung Transplant 2006Feb;25(2):248-250	Recovery From Hemorrhagic Pulmonary Damage by Combined Use of a Left Ventricular Assist System and Right Ventricular Assist System and Extracorporeal Membrane Oxygenation.	Fukui S.	心臓血管外科
J Thorac Cardiovasc Surg. 2006Jul;132(1):155-6	Unusual thrombus formation in the aorta after apicoaortic conduit for severe aortic stenosis.	Takeda K.	心臓血管外科
Surg today 2007Mar;37(3):237-9	Success reconstructive surgery for isolated mitral insufficiency in Williams syndrome .	Takeda K.	心臓血管外科
Ann Thorac Surg 2007Feb;83(2):668-70	Giant circumflex coronary artery aneurysm associated with cystic medial necrosis in a non-Marfan patient	Takeda K.	心臓血管外科
J Heart Lung Transplant 2007Jul;26(7):759-62	Abdominal fascial enlargement to relieve obstruction of the duodenum caused by novacor left ventricular assist system: a case report.	Saito S	心臓血管外科
Int J Artif Organs. 2006Aug;29(8):781-789	Antigen clearing from porcine heart valves with preservation of structural integrity.	Ueda Y.	心臓血管外科
Ann Thorac Surg 2007Apr;83(4):1501-7	Novel method of decellularization of porcine valves using polyethylene glycol and gamma irradiation.	Ota T.	心臓血管外科
Blood 15 107(4),1737-8,2006	Protein S-K196E mutation as a genetic risk factor for deep vein thrombosis in Japanese patients.	Kimura R.	心臓血管外科
Gene Therapy 13, 695-704, 2006	Prevention of abdominal aortic aneurysms by simultaneous inhibition of NFkappaB and ets using chimeric decoy oligonucleotides in a rabbit model.	Miyake T.	心臓血管外科
Thromb Res. 119(1):35-43.2007	Haplotype of thrombomodulin gene associated with plasma thrombomodulin level and deep vein thrombosis in the Japanese population.	Sugiyama S.	心臓血管外科
Lung Cancer(2006年52号)	Detection of occult tumor cells in lymph nodes from non-small cell lung cancer patients using reverse transcription-polymerase chain reaction for carcinoembryonic antigen mRNA with the evaluation of its sensitivity	前田 純	呼吸器外科
International J Clinical Oncology	Surgical interventions for focal progression of advanced gastrointestinal stromal tumors under imatinib therapy	Hasegawa J	消化器外科
tech Coloproctol (10(1),5-9,2006)	Laparoscope-assisted anal sphincter-preserving operation preceded by transanal procedure	Uchikoshi F	消化器外科
Transplantation (81(3),438-444,2006)	The difficulty of eliminating donor leukocyte microchimerism in rat recipients bearing established organ allografts	Kiyomoto T	消化器外科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Breast Cancer (13(1),89-94,2006)	A case of noninvasive ductal carcinoma arising in malignant phyllodes tumor	Nomura M	消化器外科
Surg Laparosc Endosc Percutan Tech (16(2),119-121,2006)	Subcutaneous emphysema along cutaneous striae following laparoscopic surgery:A unique complication	Nakajima K	消化器外科
Surg Endoscopy (20(2),334-338,2006)	A versatile dual-channel carbon dioxide(CO2)insufflator for various CO2 applications.The prototype	Nakajima K	消化器外科
Springer New York	Laparoscopic Colorectal Surgery(second edition)	Nakajima K	消化器外科
Surgical endoscopy (20(9),1497-1500,2006)	Laparoscopically-assisted total gastrectomy with jejunal pouch interposition	Omori T	消化器外科
Xenotransplantation (13(5),455-464,2006)	A study of the xenoantigenicity of neonatal porcine islet-like cell clusters(NPCC)and the efficiency of adenovirus-mediated DAF(CD55)expression	Omori T	消化器外科
Surgical Endoscopy (20(4),587-594,2006)	Carbon dioxide insufflation attenuates oarietal blood flow obstruction in distended colon:Potential advantages of carbon dioxide insufflated colonoscopy	Yasumasa K	消化器外科
Am.J.Surg (192,9-13,2006)	Dai-kenchu-to,a Chinese herbal medicine,improves stasis of patients with total gastrectomy and jejunal pouch interposition	Endo S	消化器外科
Surgery (139,493-500,2006)	Motility of the pouch correlates with quality of life after total gastrectomy	Endo S	消化器外科
Transplantation (81-5,789-796,2006)	Significant inhibition of human CD8+ cytotoxic T lymphocyte-mediated xenocytotoxicity by overexpression of the human decoy Fas antigen	Kawamoto K	消化器外科
Surg Endoscopy	Surgical strategy for gastric gastrointestinal stromal tumors:laparoscopic vs.open resection	Nishimura J	消化器外科
Clinical and Experimental Immunology (146,85-92,2006)	Inhibition of donor-derived T cells trafficking into target organs by FTY720 during acute graft-versus-host disease in small bowel transplantation	Song J	消化器外科
Transplantation Proceedings (38(10),3181-3183,2006)	Regulation of donor T cells in the tolerant rats to GVHD by FTY720 following small bowel transplantation	Song J	消化器外科
Medicine2006増刊号 膵癌 (43(12),221-224,2006)	Common Disease インストラクションマニュアル	伊藤壽記	消化器外科
Diabetes Frontier (17(3),342-348,2006)	特集 糖尿病と再生医療 I. 膵β細胞再生医療の近未来 膵臓移植の現状と将来展望	伊藤壽記	消化器外科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
臨床外科 (61-1,45-51,2006)	欧米のGIST診断治療ガイドラインとわが国における現状	西田俊朗	消化器外科
消化器外科 (29-2,143-148,2006)	消化管間質腫瘍(GIST)の現状	西田俊朗	消化器外科
呼吸器外科 (9-2,145-150,2006)	ゲフィチニブ耐性機構	西田俊朗	消化器外科
Surgery Frontier (13-3,91-93,2006)	炎症性細胞4白血球	西田俊朗	消化器外科
医学のあゆみ	GIST-消化管間質腫瘍の臨床診断と治療	西田俊朗	消化器外科
臨床外科 (61(5),S1-S20,2006)	再発転移GISTへのアプローチ(症例を通じたエビデンスの検討)	西田俊朗	消化器外科
Surgery Frontier (13(3),317-319,2006)	好中球、リンパ球、マクロファージなどの白血球亜分画はそれぞれSIRSの発症にどのように関係しているのですか?	西田俊朗	消化器外科
エルゼビアジャパン(PP1-171,2006)	GISTの診断と治療 実践マニュアル	西田俊朗	消化器外科
消化器外科学レビュー2006 (181-187,2006)	Gastrointestinal Stromal Tumor(GIST)-2006	西田俊朗	消化器外科
消化器外科 (29-2,195-205,2006)	GISTに対する薬物療法(イマチニブとポストイマチニブ)	長谷川順一	消化器外科
消火器がん化学療法 (269-281,2006)	GISTに対する化学療法	長谷川順一	消化器外科
Surgery Frontier (13-3,94-96,2006)	炎症性細胞4白血球	種村匡弘	消化器外科
Surgery Frontier (13(3),320-322,2006)	好中球、リンパ球、マクロファージはそれぞれ臓器移植の拒絶反応の発症にどのような役割を果たしているのですか?	種村匡弘	消化器外科
わかる・できる注射・輸液・輸血・採血 (101-107,2006)	II 輸液の技術 3.中心静脈栄養法(TPN)	野村昌哉	消化器外科
癌と化学療法 (33(1),99-103,2006)	TS-1+CDDPによる術前化学療法が奏効した腹部大動脈周囲リンパ節転移陽性胃線扁平上皮癌の1例	野村昌哉	消化器外科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
癌と化学療法 (33(1),123- 127,2006)	切除不能進行膵癌にてGemcitabine投与中に発症した薬剤耐性間質性肺炎の1例	野村昌哉	消化器外科
文光堂(166- 168,2006)	日本炎症性腸疾患協会編 IBDチーム医療ハンドブック 第8章「小児のIBD②内科治療と外科治療」	野村昌哉	消化器外科
日本消化器外科学会誌(39-2,153- 157,2006)	胸骨後に挙上した有茎空腸が胸空内にヘルニアを来した食道癌の一例	山村憲幸	消化器外科
小児外科(39(1),1- 7,2006)	Gastrointestinal stromal tumor:その概念の変遷と病変	高橋剛	消化器外科
Breast J	Preoperative evaluation of residual tumor extent by three-dimensional magnetic resonance imaging in breast cancer patients treated with neoadjuvant chemotherapy	Akazawa, K.	乳腺内分泌外科
Breast Cancer Res Treat	Association of GSTP1 CpG Islands Hypermethylation with Poor Prognosis in Human Breast Cancers	Arai, T.	乳腺内分泌外科
Int J Cancer	Quantitative analysis of aromatase mRNA expression derived from various promoters (I.4, I.3, PII and I.7) and its association with expression of TNF-alpha, IL-6 and COX-2 mRNAs in human breast cancer	Irahara, N.	乳腺内分泌外科
Cancer Lett	Quantitative analysis of aromatase, sulfatase and 17beta-HSD(1) mRNA expression in soft tissue metastases of breast cancer	Irahara, N.	乳腺内分泌外科
Int J Cancer	High expression of leptin receptor mRNA in breast cancer tissue predicts poor prognosis for patients with high, but not low, serum leptin levels	Miyoshi, Y.	乳腺内分泌外科
Cancer Sci	High expression of ubiquitin carboxy-terminal hydrolase-L1 and -L3 mRNA predicts early recurrence in patients with invasive breast cancer	Miyoshi, Y.	乳腺内分泌外科
Ann Oncol	Influence of adjuvant anastrozole on bone mineral density in Japanese postmenopausal breast cancer patients: is there a racial difference?	Yoneda, K.	乳腺内分泌外科
Clin Cancer Res	Clinicopathologic Analysis of Breast Cancers with PIK3CA Mutations in Japanese Women	Maruyama, N.	乳腺内分泌外科
Breast Cancer Res Treat	Connexin26 expression is associated with lymphatic vessel invasion and poor prognosis in human breast cancer	Naoi, Y.	乳腺内分泌外科
Breast Cancer Res Treat	Possible involvement of CCT5, RGS3, and YKT6 genes up-regulated in p53-mutated tumors in resistance to docetaxel in human breast cancers	Ooe, A.	乳腺内分泌外科
Int J Oncol 28, 715-722	In vitro RNA interference against β -catenin inhibits the proliferation of pediatric hepatic tumors	Sangkhatat S.	小児外科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Oncol Rep 16, 1197-1203	Artificially accumulated B-catenin inhibits proliferation and induces neurite extension of neuroblastoma cell line NB-1 via neurite extension of neuroblastoma cell line NB-1 via up-regulation of trk-A	Sangkhathat S.	小児外科
Ann Acad Med Singapore 2006 ;35(3):175-180.	Surgical outcomes of 25-gauge transconjunctival vitrectomy combined with cataract surgery for vitreoretinal diseases.	Oshima Y.	眼科
Adv Exp Med Biol 572:75-8, 2006.	Annexins in Bruch's membrane and drusen.	Rayborn ME.	眼科
Am J Ophthalmol, 141 (6): 1138-1140 JUN 2006	Wavefront Analysis of Eye with Monocular Diplopia and Cortical Cataract.	Fujikado T	眼科
Am J Ophthalmol. 2006;141:774-6.	Vitrectomy for macular holes associated with myopic foveoschisis.	Ikuno Y	眼科
Am J Ophthalmol. 2006 Jun;141(6):1134-1136.	Ultrasound biomicroscopic examination of acute hydrops in patients with keratoconus.	Nakagawa T	眼科
Am J Ophthalmol 141:218-220, 2006.	Repeated intravitreal triamcinolone injections in Behcet's disease resistant to conventional therapy. One year results.	Ohguro N	眼科
Am J Ophthalmol 2006;142:155-158.	Regression of iris neovascularization after intravitreal injection of bevacizumab in patients with proliferative diabetic retinopathy.	Oshima Y	眼科
Am J Ophthalmol. 2006;141:414-7.	Reoperation for persistent myopic foveoschisis after primary vitrectomy.	Sayanagi K	眼科
Am J Ophthalmol. 2006;142:850-2.	Tractional internal limiting membrane detachment in highly myopic eyes.	Sayanagi K	眼科
Br J Ophthalmol 90: 1437-1438, 2006	Bilateral upper eyelid ectropion associated with blepharospasm.	Koh S	眼科
Br J Ophthalmol.2007 Feb;91(2):161-5. Epub 2006 Aug 16	Intravitreal injection of bevacizumab for choroidal neovascularization caused by pathological myopia.	Sakaguchi H	眼科
Br J Ophthalmol. 2006;90:652-3.	Spontaneous resolution of retinoschisis and consequent development of retinal detachment in highly myopic eye.	Sayanagi K	眼科
Br J Pharmacol. 2007 Jun;151(4):467-75.	Yamada M, Kurachi Y, Gopalakrishnan M. Characterization of a novel ATP-sensitive K ⁺ channel opener, A-251179, on urinary bladder relaxation and cystometric parameters.	Shieh CC	眼科
Curr Eye Res 31:69-77, 2006.	Protective effect of donepezil on retinal ganglion cells in vitro and in vivo.	Miki A	眼科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Exp Eye Res. 2006 ;82:529-37.	Mitogen-activated protein kinase (MAPK) and phosphatidylinositol-3 kinase (PI3K) pathways differently regulate retinal pigment epithelial cell-mediated collagen gel contraction.	Bando H	眼科
FASEB J. 20:392-4, 2006.	Functional human corneal endothelial cell sheets harvested from temperature-responsive culture surfaces.	Sumide T.	眼科
Graefes Arch Clin Exp Ophthalmol. 2006 ;244(3):364-375.	Electrophysiological and histological studies of chronically implanted intrapapillary microelectrodes in rabbit eyes.	Fang X	眼科
Graefes Arch Clin Exp Ophthalmol. 2006;244:1415-20.	Three-dimensional optical coherence tomographic findings in central serous chorioretinopathy.	Mitarai K	眼科
Graefes Arch Clin Exp Ophthalmol. 2006 Oct;244(10):1283-92.	Evaluation of residual retinal function by pupillary constrictions and phosphenes using transcorneal electrical stimulation in patients with retinal degeneration.	Morimoto T	眼科
Gene Ther. 13:225-234, 2006	Suppression of ocular neovascularization with siRNA targeting VEGF receptor 1.	Shen J	眼科
Invest Ophthalmol Vis Sci. 2006 Feb;47(2):552-7.	Transplantation of tissue-engineered epithelial cell sheets after excimer laser photoablation reduces postoperative corneal haze.	Hayashida Y	眼科
Invest Ophthalmol Vis Sci 47:3318-3324, 2006	Serial measurements of Higher-order aberrations after blinking in normal subjects.	Koh S	眼科
Jpn J Ophthalmol 50:409-416, 2006	Automated keratoconus detection using height data of anterior and posterior corneal surfaces.	Kenichiro Bessho	眼科
Jpn J Ophthalmol. 2006 May-Jun;50(3):266-73.	Effect of transcorneal electrical stimulation in patients with nonarteritic ischemic optic neuropathy or traumatic optic neuropathy.	Fujikado T	眼科
Jpn J Ophthalmol. 2006; 50 (6): 561-2.	Ocular concentration of intravenous prednisolone sodium phosphate in experimental autoimmune uveoretinitis mice.	Hashida N	眼科
Jpn J Ophthalmol. 2006;50:229-34.	Induction of connective tissue growth factor in retinal pigment epithelium cells by oxidative stress.	Matsuda S	眼科
JAPANESE JOURNAL OF OPHTHALMOLOGY 50 (4): 323-333 JUL-AUG 2006	Intensity analysis of Hartmann-Shack images in cataractous, keratoconic, and normal eyes to investigate light scattering	Mihashi T	眼科
Jpn J Ophthalmol 50:85-89, 2006	Tear film break-up evaluated by real time Hartmann-Shack wavefront sensing.	Mihashi T	眼科
Jpn J Ophthalmol 50:217-223, 2006.	Expression of AMPA receptor subunit proteins in purified retinal ganglion cells.	Miki A	眼科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Jpn J Ophthalmol 50(2):111-5.	A Microperimeter That Provides Fixation Pattern and Retinal Sensitivity Measurement,	Sawa M	眼科
Jpn J Ophthalmol 50:318-322, 2006	Effects of reference axes used during measurements of ocular and corneal higher-order aberrations in patients following LASIK.	Atsuko Takehara	眼科
Jpn J Ophthalmol 2006;50:318-322	Effects of reference axes used measurement of ocular and corneal high-order aberrations in patients following LASIK.	Takehara	眼科
J Physiol. 2006 Jun 1;573(Pt 2):483-95.	Topographical heterogeneity of K(IR) currents in pericyte-containing microvessels of the rat retina: effect of diabetes.	Matsushita K	眼科
J Cataract Refract Surg 32:689-691, 2006	Paradoxical increase of visual impairment with punctal occlusion in a patient with mild dry eye.	Koh S	眼科
Ophthalmology ;113(5):814-20. E2	Fundus autofluorescence in patients with pseudoxanthoma elasticum.	Sawa M	眼科
Ophthal Physiol Opt. 26: 65-70, 2006.	Wavefront analysis of eyes with cataracts in patients with monocular triplopia.	Kim A	眼科
OPTICAL REVIEW 13 (5): 396-404 SEP- OCT 2006	Evaluating optical quality of a bifocal soft contact lens in near vision using a Shack-Hartmann wavefront aberrometer .	Hirohara Y	眼科
Proc Natl Acad Sci U S A. 2006 Sep 5;103(36):13333-8.	Matrix morphogenesis in cornea is mediated by the modification of keratan sulfate by GlcNAc 6-O-sulfotransferase.	Hayashida Y	眼科
Retina 2006;26(5):583-585.	Forceps with scale marks for the transconjunctival sutureless vitrectomy system.	Ohji M	眼科
Retina 2006;26(5):555-561.	Radial optic neurotomy for the management of hemicentral retinal vein occlusion: Long-Term Follow-Up Study.	Sakaguchi H	眼科
Retina, 26(1):119-20	Autofluorescence and retinal pigment epithelial atrophy after subretinal hemorrhage.	Sawa M	眼科
Retina, 26(5):585-8.	Intraretinal Foveal Neovascularization in Choroideremia,	Sawa M	眼科
Neurology 67(5): 887-890, 2006	Auditory and tactile processing in a postmeningitic deaf-blind patient with a cochlear implant.	Y Osaki	耳鼻咽喉科
J Neurosci Res 83: 1573-1583, 2006.	Fos-enkephalin signaling in the medial vestibular nucleus facilitates vestibular compensation.	Kitahara T	耳鼻咽喉科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Otol Neurotol 27: 896-900, 2006.	Factors relating to the vertigo control and hearing changes following intratympanic gentamicin for intractable Meniere's disease.	Horii A	耳鼻咽喉科
Acta Otolaryngol 126: 170-173, 2006.	Intracranial vertebral artery dissection mimicking acute peripheral vertigo.	Horii A	耳鼻咽喉科
Acta Otolaryngol 126: 548-552, 2006.	Endolymphatic hydrops as a cause of audiovestibular dysfunction in relapsing polychondritis.	Murata J	耳鼻咽喉科
Acta Otolaryngol, May. 2006, 126	Endolymphatic hydrops as a cause of audio-vestibular manifestations in relapsing polychondritis.	Junko Murata	耳鼻咽喉科
J.Comp. Neurol., July 2006, 497	Mapping of notch activation during cochlear development in mice: implications for determination of prosensory domain and cell fate diversification.	Junko Murata	耳鼻咽喉科
気食会報 57: 371-377, 2006	甲状披裂筋切除術変法により声門開大を達成した両側声帯外転障害の1例.	小川 真	耳鼻咽喉科
JOHNS 22: 521-525, 2006	職業と嗄声.	小川 真	耳鼻咽喉科
頭頸部外科 16: 171-175, 2006	内リンパ嚢高濃度ステロイド挿入術の再手術所見.	北原 紘	耳鼻咽喉科
日耳鼻 109: 600-605, 2006	耳科手術後に発症した遅発性顔面神経麻痺.	北原 紘	耳鼻咽喉科
Clinical Neuroscience (月刊 臨床神経科学) 24: 948-949, 2006.	標準治療と最新治療—メリット・デメリット メニエール病.	久保武	耳鼻咽喉科
Geriatr. Med. 44: 781-785, 2006	感音難聴治療—臨床の最前線, 人工内耳.	土井勝美	耳鼻咽喉科
JOHNS 22: 1215-1219	前庭水管拡大症.	土井勝美	耳鼻咽喉科
Journal of Bone Mineral Metabolism (24:274-282, 2006.)	Imatinib mesylate inhibits osteoclastogenesis and joint destruction in rats with collagen-induced arthritis (CIA)	Ando, W	整形外科
Journal of Biological Chemistry(281:31079-3192. 2006)	Oxygen tension regulates chondrocyte differentiation and function during endochondral ossification.	Hirao, M.	整形外科
Arthritis Research & Therapy(8:R54, 2006.)	Enhanced expression of mRNA for nuclear factor kB1(p50) in CD34+ cells of the bone marrow in rheumatoid arthritis.	Hirohata, S	整形外科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
J Biomed Mater Res B Appl Biomater(78:378-84, 2006)	Dual hydroxyapatite composite with porous and solid parts: Experimental study using canine lumbar interbody fusion model.	Kaito, T.	整形外科
Nature(443:998-1002, 2006.)	Chronic polyarthritis caused by mammalian DNA that escapes from degradation in macrophages.	Kawane, K.	整形外科
Arthritis Research & Therapy(8:R103, 2006.)	Inhibitory effect of ribbon-type NFkB decoy oligodeoxynucleotides on osteoclast induction and activity in vitro and in vivo.	Kunugiza, Y	整形外科
Journal of Bone and Mineral Metabolism(24:425-433, 2006.)	Potential roles of bone morphogenetic proteins (BMPs) in skeletal repair and regeneration.	Nakase, T.	整形外科
Journal of Bone Mineral Research(21:1022-33, 2006.)	Bone morphogenetic proteins in bone stimulate osteoclasts and osteoblasts during bone development.	Okamoto, M.	整形外科
Journal of Foot and Ankle Surgery(45:316-321, 2006.)	Hydroxyapatite augmentation for bone atrophy in total ankle replacement in rheumatoid arthritis.	Shi, K.	整形外科
Gene Therapy(13:933-941, 2006)	NFkappaB decoy oligodeoxynucleotides ameliorates osteoporosis through inhibition of activation and differentiation of osteoclasts.	Shimizu, H.	整形外科
International Journal of Molecular Medicine(18:257-265, 2006.)	E2F decoy oligodeoxynucleotide ameliorates cartilage invasion by infiltrating synovium derived from rheumatoid arthritis.	Tomita, T.	整形外科
Inflammation and Regeneration(26:507-512, 2006.)	Application of decoy oligodeoxynucleotides for arthritis.	Tomita, T.	整形外科
J Bone Joint Surg Br. 2007 Apr;89(4):490-4.	A three-dimensional quantitative analysis of carpal deformity in rheumatoid wrists.	Arimitsu S,	整形外科
Clin Rheumatol. 2007 Apr;26(4):515-9.	Radiographic study of joint destruction patterns in the rheumatoid elbow.	Kitamura T,	整形外科
J Orthop Res. 2006 May;24(5):1028-35.	In vivo three-dimensional motion analysis of the forearm with radioulnar synostosis treated by the Kanaya procedure.	Oka K,	整形外科
J Bone Joint Surg Am. 2006 Mar;88(3):611-21.	In vivo three-dimensional kinematics of the midcarpal joint of the wrist.	Moritomo H,	整形外科
J Biomed Mater Res B Appl Biomater. 2007 Jan;80(1):273-9.	Modulation of peritendinous adhesion formation by alginate solution in a rabbit flexor tendon model.	Namba J,	整形外科
日本皮膚科学会前実績研修会必須Bコーステキスト (2006)	全身性エリテマトーデスとシェーグレン症候群治療の進歩	片山一朗	皮膚科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
小児科(2006:47:4)	アトピー性皮膚炎と誤りやすい皮膚疾患	片山一朗	皮膚科
Allergol Int. (2006:55(2))	Successful treatment with regimen of intravenous gammaglobulin and cyclophosphamide for dermatomyositis accompanied by interstitial pneumonia, opportunistic infection and steroid psychosis.	Murota H	皮膚科
皮膚の科学(2006:5:Suppl7)	アトピー性皮膚炎とサイトカイン	片山一朗	皮膚科
アレルギー(2006:55)	ステロイド外用薬アップデート	片山一朗	皮膚科
J Dermatol. (2006:33(10))	Case of morphea occurring on a scar after laparoscopy.	Terao M	皮膚科
J Env Dermatol (2006:13)	新しい皮膚アレルギー研究雑誌の誕生とその方向性	片山一朗	皮膚科
形成外科(2006:49(2):159-169)	【病態よりみた難治下腿潰瘍の診断と治療】糖尿病性潰瘍の診断と治療	辻隆治	皮膚科
日本皮膚アレルギー学会誌(14(1):501-506) 2006	重症薬疹の動物モデル:TENの病態	小豆澤宏明	皮膚科
FASEB J 20(9):1486-1488.	Human skin responses to UV radiation: pigment in the upper epidermis protects against DNA damage in the lower epidermis and facilitates apoptosis.	Yamaguchi Y	皮膚科
J Invest Dermatol in press	The effects of dickkopf 1 (DKK1) on gene expression and Wnt signaling by melanocytes: mechanisms underlying its suppression of melanocyte function and proliferation.	Yamaguchi Y	皮膚科
皮膚の科学 5(2):144-147	強皮症による手指関節拘縮に対して外科的整復を試み改善を得た1例	室田浩之	皮膚科
Psychiatry Clin Neurosci (60 Suppl 1:S40-45, 2006)	Neural substrates of emotional habituation: A PET study using film stimuli.	Hatta N	神経科精神科
Psychiatry Clin Neurosci (60 Suppl 1:S46-51, 2006)	Neural substrates of emotionally valenced episodic memory: A PET study using film stimuli.	Masaki Y	神経科精神科
Epilepsy Behav 9(2):367-72 2006	Right parietal activation during delusional state in episodic interictal psychosis of epilepsy; A report of two cases	Ishii R	精神医学
Neuropsychobiology 53:215-222 2006	Spatially filtered magnetoencephalographic analysis of cortical oscillatory changes in basic brain rhythms during the Japanese "shiritori" word generation task	Ishii R (Co-author)	精神医学

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Neuropsychobiology 54:29-30 2006	SAM(G2) Analysis; A New Approach for MEG Source Localization of Epilepsy	Ishii R	精神医学
日本医師会雑誌 135(1):74, 2006.	パーキンソン病と疲労	阿部和夫	神経内科
Journal of Clinical Rehabilitation 15(5): 442-446, 2006.	臨床にいかすリハビリテーション診断学 パーキンソン病の姿勢	阿部和夫	神経内科
神経内科 64(4):417-421, 2006.	リスペリドン内用液によるParkinson病でのせん妄の治療	阿部和夫	神経内科
リハビリテーション医学 43(5):315-321, 2006.	パーキンソン病におけるすくみ足と両下肢協調運動障害	阿部和夫	神経内科
臨床神経学 2006; 46(8): 579-579.	臨床神経学のWeb化	阿部和夫	神経内科
神経内科	診療報酬改定に伴う特殊疾患療養病棟廃止の問題点	阿部和夫	神経内科
財団法人大阪ガスグループ福祉財団研究・調査報告集 19: 1-6, 2006	高齢者の在宅医療・居宅サービスの質の評価の向上に関する研究	阿部和夫	神経内科
Brain and Nerve	急性期の筋炎に対するリハビリテーション	阿部和夫	神経内科
Monthly Book Medical Rehabilitation	神経・筋疾患の呼吸リハビリテーション	阿部和夫	神経内科
石本記念デサントスポーツ科学振興財団自由課題学術研究の成果報告書	パーキンソン病に対する転倒予防を目的とした運動療法	阿部和夫	神経内科
医学のあゆみ 2006; 218(4): 308-309.	変異SOD1の不安定性とALSの進行速度	山本洋一	神経内科
総合臨床 55(1):97-101, 2006.	神経・筋疾患と慢性疲労	高橋正紀	神経内科
神経疾患最新の治療2006-2008 小林祥泰、水澤英洋編集 南江堂 Pp261-263, 2006.	周期性四肢麻痺	高橋正紀	神経内科
医学のあゆみ 218(5):391-395, 2006.	Alzheimer病における銅代謝	長野清一	神経内科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
ゲノム医学 6(2):199-203, 2006.	筋強直性ジストロフィー	中森雅之	神経内科
呼吸と循環 54巻1 2号 1279-1286	プロテオミクス解析と疾病について-定量的プロテオミクス法の最近の趨勢.	深田慶	神経内科
バイオメカニズム学 会誌2006; 30(3): 128-131	脳卒中後の歩行再獲得と転倒	島中めぐみ	神経内科
日本生体磁気学誌 vol.19, No1 p78- 79, 2006	慢性ふらつき感を訴える高齢者の病態生理と治療法	大江洋史	神経内科
脳循環代謝 18: 165-169, 2006	NIRSを用いた脳機能評価の現状	三原 雅史	神経内科
Jpn J Rehabil MedVOL. 44 NO.1 2007	リハビリテーションを施行した脳静脈洞血栓症の3例	須貝 文宣	神経内科
New Research. Edited by Murray C A. Nova Science Publishers, and Inc. NY. Pp303- 322, 2006.	Magnetic resonance spectroscopic investigation in amyotrophic lateral sclerosis (ALS). In Amyotrophic Lateral Sclerosis:	Abe K.	神経内科
J Neuroimag 16: 73- 77, 2006	The "cross" signs in patients with multiple system atrophy (MSA). -Quantitative study-.	Abe K.	神経内科
Journal of International Society of Life Information Science 24(1): 60- 62, 2006	Tiredness and fatigue.	Abe K.	神経内科
Int Med 45(7): 489-489, 2006.	A tethered conus syndrome in an adult woman.	Abe K.	神経内科
Int Med 45(15): 935-936, 2006.	Hummingbird and squint eyes in progressive supranuclear palsy.	Abe K.	神経内科
Current Medical Imaging Reviews 2(4): 425-434, 2006.	MRI of central nervous system CNS vasculitis.	Abe K.	神経内科
Neurology http://www.neurology.org/cgi/eletters/65/6/887#3392	Neuroimages of primary progressive aphasia.	Abe K.	神経内科
Cytokine2006 Oct;36(1-2):69- 74.	Beneficial effect of interferon- β treatment in patients with multiple sclerosis is associated with transient increase in serum IL-6 level in response to interferon- β injection.	Nakatsuji Y.	神経内科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
J Neurol 253(10): 1372-1373, 2006.	Sacsin-related ataxia caused by the novel nonsense mutation Arg4325X.	Yamamoto Y.	神経内科
Acta Neuropathol 112: 52-63, 2006	Inverse correlation between the formation of mitochondria-derived vacuoles and Lewy-body-like hyaline inclusions in G93A superoxide-dismutase-transgenic mice.	Sumi H.	神経内科
Eur J Pharmacol 532: 24-31, 2006.	Class Ic antiarrhythmics block human skeletal muscle Na channel during myotonia-like stimulation.	Aoike F.	神経内科
NeuroImage 34(1): 109-116 2006.	Frontal regions involved in learning of motor skill- A functional NIRS study.	Hatakenaka M.	神経内科
NeuroReport 17(4):413-416, 2006.	MR Spectroscopic study of Alzheimer's disease and FTD/Pick complex.	Mihara M.	神経内科
JPN.J.ELECTROCARDIOLOGY(2006 ,Vol.26)	ATP感受性K ⁺ チャンネル開口薬のハロセン-エピネフリン不整脈抑制効果	林行雄	麻酔科
Neurology (2007: 68)	Prism adaptation to optical deviation alleviates pathologic pain	住谷昌彦	麻酔科
Neurology (2007: 68)	Pathologic pain distorts visuospatial perception	住谷昌彦	麻酔科
日本ペインクリニック学会誌 (2006: 13)	末梢性求心路遮断性疼痛に対する鏡療法の有効性:幻肢痛2例	住谷昌彦	麻酔科
日本ペインクリニック学会誌 (2006: 13)	末梢性求心路遮断性疼痛に対する鏡療法の有効性:腕神経叢引き抜き損傷後疼痛2例	住谷昌彦	麻酔科
慢性疼痛 (2006: 25)	本邦におけるCRPS診断基準作成(中間報告)	住谷昌彦	麻酔科
Am J Obstet Gynecol (194: 231-238, 2006)	The effects of repeated corticosteroid administration on the neurogenesis in the neonatal rat	Kanagawa, T.	産婦人科
Am J Obstet Gynecol (195: 240-245, 2006)	Long-term neuroprotective effects of carbon dioxide on neonatal rat hypoxic-ischemic brain injury: An experimental study of skilled motor tasks	Kohzuki, M.	産婦人科
Am J Obstet Gynecol (195: 535-541, 2006)	Maternal oxygen administration and fetal cerebral oxygenation: studies on near-term fetal lambs at both low and high altitude	Tomimatsu, T.	産婦人科
Arch Womens Ment Health (9: 209-212, 2006)	Prevalence of premenstrual syndrome and premenstrual dysphoric disorder in Japanese women	Takeda, T.	産婦人科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Brain Res (1111: 36-40, 2006)	A decrease of cell proliferation by hypothermia in the hippocampus of the neonatal rat	Kanagawa, T.	産婦人科
Brain Res (1121: 35-45, 2006)	Post-ischemic hypothermia reduced IL-18 expression and suppressed microglial activation in the immature brain	Fukui, O.	産婦人科
Cancer Lett (241:289-300, 2006)	Prognostic significance of p53 mutation in suboptimally resected advanced ovarian carcinoma treated with the combination chemotherapy of paclitaxel and carboplatin	Ueno, Y.	産婦人科
Endocrinol (147: 1761-1769, 2006)	Inhibition of phosphatidylinositol 3-kinase increases efficacy of cisplatin in in vivo ovarian cancer models	Ohta, T.	産婦人科
FEBS Lett (580: 2717-2722, 2006)	Mouse model of human infertility: Transient and local inhibition of endometrial STAT-3 activation results in implantation failure	Nakamura, H.	産婦人科
Fertil Steril (86: 477-479, 2006)	Preliminary report of treatment with oral contraceptive pills for intermenstrual vaginal bleeding secondary to a cesarean section scar	Tahara, M.	産婦人科
Horm Metab Res (38:619-624, 2006)	Transient local overexpression of human vascular endothelial growth factor (VEGF) in mouse fetomaternal interface during mid-term pregnancy lowers systemic maternal blood pressure	Koyama, S.	産婦人科
Int J Gynecol Obstet (93:248-249, 2006)	Cesarean delivery after successful external cephalic version of breech presentation at term	Matsuzaki, S.	産婦人科
Int J Gynecol Obstet (92:19-22, 2006)	Effect of coffee intake on blood flow and maternal stress during the third trimester of pregnancy	Tsubouchi, H.	産婦人科
Int J Gynecol Obstet (92:242-247, 2006)	The expression of fractalkine in the endometrium during the menstrual cycle	Watanabe, M.	産婦人科
J Obstet Gynaecol Res (32:368-372, 2006)	Rapid detection of trisomy 21 by gene dosage analysis using quantitative real-time PCR	Tsujie, T.	産婦人科
J Obstet Gynaecol Res (32:396-402, 2006)	Prospective study of non-closure or closure of the peritoneum at cesarean delivery in 124 women: Impact of prior peritoneal closure at primary cesarean on the interval time between first cesarean section and the next pregnancy and significant adhesion at second cesarean	Komoto, Y.	産婦人科
J Obstet Gynecol Res (32:373-378, 2006)	Reduction of aquaporin-8 on fetal membranes under oligohydramnios in mice lacking prostaglandin F2 alpha receptor	Shioji, M.	産婦人科
J Obstet Gynecol Res (32:403-407, 2006)	Mid-second trimester measurement of fetal nasal bone length in the Japanese population	Kanagawa, T.	産婦人科
J Reprod Immunol (70:59-69, 2006)	Simple and highly efficient method for transient in vivo gene transfer to mid-late pregnant mouse uterus	Koyama, S.	産婦人科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
J Reprod Med (51:722-724, 2006)	Spontaneous rupture of uterine surface varicose veins in pregnancy	Hashimoto, K.	産婦人科
Jpn J Clin Oncol (36:113-115, 2006)	Parathyroid hormone-related protein-secreting uterine endometrioid adenocarcinoma	Kinugasa, Y.	産婦人科
Maturitas (53: 27-31, 2006)	MR imaging evaluation of postmenopausal adnexal masses: Correlation with final pathologic diagnosis	Temma-Asano, K.	産婦人科
Maturitas (54: 141-148, 2006)	Secretory leukocyte protease inhibitor levels in cervicovaginal secretion of elderly women	Shimoya, K.	産婦人科
Menopause (13: 935-941, 2006)	Estrogen and raloxifene inhibit the monocytic chemoattractant Protein-1-induced migration of human monocytic cells via non-genomic ER α .	Yada-Hashimoto, N.	産婦人科
Mol Human Reprod (12:755-761, 2006)	S100B protein expression in the amnion and amniotic fluid in pregnancies complicated by pre-eclampsia	Tskitishvili, E.	産婦人科
Pediatr Res (60: 711-716, 2006)	Fetal hypercapnia and cerebral tissue oxygenation: studies in near-term sheep	Tomimatsu, T.	産婦人科
Placenta (27:912-918, 2006)	STAT3-mediated constitutive expression of SOCS3 undifferentiated rat trophoblast-like cell line	Isobe, A.	産婦人科
Clin Pediatr Endocrinol (2006, 15, 4)	Molecular bases of diseases characterized by hypophosphatemia and phosphaturia: New understandings.	Ozono K	小児科
日本小児科学会雑誌(2006, 110,12)	高度肥満と注意欠陥多動性障害を合併した閉塞性睡眠時無呼吸症候群の一治療例	三善陽子	小児科
日本小児循環器学会雑誌(2006,22, 6)	小児心臓移植患者のフォローアップ-QOLと問題点	小垣滋豊	小児科
Hum Mol Genet(2006, 15,8)	Aberrant neuromuscular junctions and delayed terminal muscle fiber maturation in α -dystroglycanopathies.	Taniguchi M	小児科
Biochem Biophys Res Commun (342,2)	Expression profiling of muscles from Fukuyama-type congenital muscular dystrophy and laminin- α 2 deficient congenital muscular dystrophy; is congenital muscular dystrophy a primary fibroic disease?	Taniguchi M	小児科
J Mol Endocrinol(2007, 38,1-2)	Growth hormone stimulates adipogenesis of 3T3-L1 cells through activation of the Stat5A/5B-PPAR γ pathway.	Kawai M	小児科
Endocrine J(2006,53,3)	Lack of puberty despite elevated estradiol in a 46, XY phenotypic female with Frasier syndrome.	Miyoshi Y	小児科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Clin Pediatr Endocrinol	Beneficial effect of oral bisphosphonate treatment on bone loss induced by chronic administration of furosemide without alteration of its administration and urinary calcium loss.	Kubota T	小児科
J Hum Genet (2006,51,6)	Six novel mutations detected in the GALC gene in 17 Japanese patients with Krabbe disease, and new genotype-phenotype correlation.	Xu C	小児科
Med J Osaka Univ(2006, 49, 1-4)	Characterization of the sensitivity of lymphoblastoid cell lines to various stress agents in Roberts syndrome.	Gordillo M	小児科
Brain Dev(2006, 28, 1)	Novel mutation of gene coding for glial fibrillary acidic protein in a Japanese patient with Alexander disease.	Kawai M	小児科
J Neurosci(2006,26, 16)	Prostaglandin D ₂ -mediated microglia/astrocyte interaction enhances astrogliosis and demyelination in twitcher.	Mohri I	小児科
J Neurochem (2006, 97, 3)	Lipocalin-type prostaglandin D synthase is upregulated in oligodendrocytes in lysosomal storage diseases and binds gangliosides.	Mohri I	小児科
J Med Virol(2006, 78, 7)	CMV DNA detection in dried blood spots for diagnosing congenital CMV infection in Japan.	Yamagishi Y	小児科
J Biol Chem (2005, 280,49)	Importin 4 is responsible for ligand-independent nuclear translocation of vitamin D receptor.	Miyauchi Y	小児科
International Journal of Urology (13(3):197-201, 2006)	Urinary macromolecules and renal tubular cell protection from oxalate injury: Comparison of normal subjects and recurrent stone formers	辻畑 正雄	泌尿器科
The Journal of Urology (67(4):864-869, 2006)	Hepatocyte growth factor has protective effects on crystal-cell interaction and crystal deposits	鄭 則秀	泌尿器科
International Journal of Urology (13(4):478-480, 2006)	Testicular epidermoid cyst in Klinefelter's syndrome	吉田 栄宏	泌尿器科
International Journal of Urology (13:805-808, 2006)	A case of renal cell carcinoma with multiple lung metastases refractory to interferon- α showing complete remission by interleukin-2 monotherapy	林 哲也	泌尿器科
International Journal of Urology (13(6):743-746, 2006)	Fibronectin inhibits endocytosis of calcium oxalate crystals by renal tubular cells	辻畑 正雄	泌尿器科
International Journal of Urology (13(7):926-931, 2006)	Significance of electrostimulation in detecting neurovascular bundle during radical prostatectomy	辻村 晃	泌尿器科
International Journal of Urology (13:1012-1014, 2006)	Rare case of aggressive angiomyxoma presenting as a retrovesical tumor	波多野 浩士	泌尿器科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Journal of Endourology (20(4):262-265, 2006.4)	Laparoscopic Adrenalectomy for Primary Hyperaldosteronism: Clinical Experience with 60 Cases	辻畑 正雄	泌尿器科
Int. J. Clin. Oncol (11:297-302, 2006)	The expression of thymidine phosphorylase is a prognostic predictor for the intravesical recurrence of superficial bladder cancer	野々村 祝夫	泌尿器科
Reproductive Medicine and Biology (5:195-200, 2006)	Comparative study of Sperm Motility Analysis System and conventional microscopic semen analysis	小森 和彦	泌尿器科
Cancer Res. (66(23):11166-11171, 2006.12)	Isolation of Germ Cells from Leukemia and Lymphoma Cells in a Human In vitro Model: Potential Clinical Application for Restoring Human Fertility after Anticancer Therapy	藤田 和利	泌尿器科
NMR Biomed 19:60-68, 2006.	Quantitative study of changes in oxidative metabolism during visual stimulation using absolute relaxation rates.	Fujita N	放射線科
AJNR Am J Neuroradiol 27:1770-1775, 2006.	Relationship between variations in the circle of Willis and flow rates in internal carotid and basilar arteries determined by means of magnetic resonance imaging with semiautomated lumen segmentation: reference data from 125 healthy volunteers.	Tanaka H	放射線科
Neuropsychobiology 53:215-222, 2006.	Spatially filtered magnetoencephalographic analysis of cortical oscillatory changes in basic rhythms during the Japanese 'Shiritori' Word Generation Task.	Fujita N	放射線科
J Thorac Imaging. 21(1): 22-26, 2006.	Drug-associated organizing pneumonia: High-resolution CT findings in 9 patients.	Johkoh T	放射線科
Lung Cancer. 52(2): 135-140, 2006.	Imaging of gefitinib-related interstitial lung disease: Multi-institutional analysis by the West Japan Thoracic Oncology Group.	Johkoh T	放射線科
European Journal of Radiology. 2006; in press	Computer-assisted lung nodule volumetry from multi-detector row CT: Influence of image reconstruction parameters.	Honda O	放射線科
Radiology. 238(1): 321-329, 2006.	Prediction of prognosis for acute respiratory distress syndrome with Thin-section CT: Validation in 44 cases.	Johkoh T	放射線科
Radiat Med. 24(3): 171-181, 2006.	MR imaging of thymic epithelial tumors: correlation with World Health Organization classification.	Inoue A	放射線科
Respir Med. 100: 1753-1759, 2006.	Acute exacerbation of interstitial pneumonia following surgical lung biopsy. Respir Med.	Johkoh T	放射線科
Radiat Med. 24(1): 72-76, 2006.	Evaluation of coronary artery bypass grafts using multidetector-row CT with Japanese patients.	Sumikawa H	放射線科
Nippon Hoshasen Gijutsu Gakkai Zasshi. 62(6): 863-866, 2006.	Improvement of metal artifacts in dental structures by X-ray CT: reconstruction of transverse images using oblique images by gantry tilt scanning.	Johkoh T	放射線科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Radiat Med. 24(1): 28-34, 2006.	Novel display technique for reference images for visibility of temporal change on radiographs - Color digital summation radiography-	Nakamura H	放射線科
Radiat Med. 24(3): 182-186, 2006.	Evaluation of the usefulness of color digital summation radiography in temporally sequential digital radiographs: a phantom study.	Tomiyama N	放射線科
Radiat med. 24(3): 351-357, 2006.	Evaluation of usefulness of color digital summation radiography for solitary pulmonary nodules on chest radiographs.	Tomiyama N	放射線科
J Comput Assist Tomogr. 2006; in press	CT features of Legionella pneumophila pneumonia in 38 cases.	Johkoh T	放射線科
Surg Endosc 20: 1419-1422, 2006	Safer video-assisted thoracoscopic thymectomy after location of thymic veins with multidetector computed tomography.	Inoue A	放射線科
J Comput Assist Tomogr. 30(2): 244-249, 2006.	Quantitative analysis for computed tomography finding of various diffuse lung diseases using volume histogram analysis.	Sumikawa H	放射線科
Radiology. 241(1): 258-266, 2006.	Usual interstitial pneumonia and chronic idiopathic interstitial pneumonias: Analysis of CT appearance in 92 patients.	Sumikawa H	放射線科
Am J Roentgenol. 186(2): 368-373, 2006.	Drug-induced eosinophilic pneumonia: high-resolution CT findings in 14 patients.	Johkoh T	放射線科
Am J Roentgenol. 186(4): 995-999, 2006.	Idiopathic interstitial pneumonias: prevalence of mediastinal lymph node enlargement in 206 patients.	Johkoh T	放射線科
Am J Neuroradiol. 27(1): 40-45, 2006.	Effect of CT acquisition parameters in the detection of subtle hypoattenuation in acute cerebral infarction: a phantom study.	Johkoh T	放射線科
Physics and Medicine and Biology. 2006; in press	Improvement of spatial resolution in the longitudinal direction for isotropic imaging in helical CT.	Johkoh T	放射線科
Jpn J Radiol Technol.(Nippon Hoshasen Gijutsu Gakkai Zasshi) 62(1): 95-104, 2006.	Simulator-assisted setting of scan protocols for X-ray CT: development and clinical usefulness of the Scan Plan Simulator.	Johkoh T	放射線科
Eur J Radiol 59: 60-64, 2006	CT-guided Needle Biopsy of Lung Lesions: A Survey of Severe Complication based on 9783 biopsies in Japan.	Tomiyama N	放射線科
Magn Reson Med Sci. 5(3): 147-150, 2006.	Air Microbubbles as MR susceptibility Contrast Agent at 1.5 Tesla.	Nakamura H	放射線科
Jpn J Radiol Technol.(Nippon Hoshasen Gijutsu Gakkai Zasshi) 62(1): 115-121, 2006.	Computational flow dynamics in abdominal aortic aneurysm using multislice computed tomography.	Johkoh T	放射線科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Radiat Med. 24(10): 680-686, 2006.	Solitary pulmonary metastases from renal cell carcinoma: the comparison of high resolution CT with pathologic findings.	Tomiyama N	放射線科
J Magn Reson Imaging 23: 509-519, 2006.	Hemodynamic characterization of focal hepatic lesions: role of ferucarbotran-enhanced dynamic MR imaging using T2-weighted multishot spin-echo echo-planar sequence.	Hori M	放射線科
Magn Reson Med Sci 5: 201-206, 2006.	Isotropic Diffusion-weighted MR Imaging with Tetrahedral Gradients in the Upper Abdomen.	Hori M	放射線科
Radiation Medicine 24 617-624, 2006.	Evaluation of renal arteries in living renal donors: comparison between MDCT angiography and gadolinium-enhanced 3D MR angiography.	Kim T	放射線科
J Comput Assist Tomogr 30: 206-211, 2006.	Determining the optimal timing for early arterial phase hepatic CT imaging by measuring abdominal aortic enhancement in variable contrast injection protocols.	Onishi H	放射線科
Magn Reson Med Sci 5: 167-171, 2006.	A case of hepatocellular carcinoma treated by MR-guided focused ultrasound ablation with respiratory gating.	Mikami K	放射線科
Radiology 239: 131-138, 2006.	Hepatic metastases: detection with multi-detector row CT, SPIO-enhanced MR imaging, and both techniques combined.	Onishi H	放射線科
Radiat Med 24: 309-14, 2006.	Principles and techniques of transcatheter embolotherapy for peripheral vascular lesions.	Osuga K	放射線科
Eur J Nucl Med Mol Imaging 33: 254-262, 2006.	Initial experience with FDG-PET/CT in the evaluation of breast cancer.	Tatsumi M	放射線科
Eur Radiol. 16(10):2292-2308, 2006.	Fat in the liver: diagnosis and characterization.	Hori M	放射線科
Int J Comput Assist Radiol Surg 1 (Suppl 1): 39-40, 2006.	Construction of conditional statistical atlases of the liver based on spatial normalization using surrounding structures.	Hori M	放射線科
Int J Comput Assist Radiol Surg 1 (Suppl 1): 71-73, 2006.	Automated segmentation of liver from 3D CT images.	Hori M	放射線科
臨床病理 Jpn J Clin Pharmacol Ther 37(4) July 2006	『治験における画像の適正利用:放射線科の立場から』	上甲 剛	放射線科
臨床放射線 Vol.51 No.1 pp.119-123	『心電図同期MDCTによる左心室内血栓の評価』	井上敦夫	放射線科
人工呼吸23(1): 54-61, 2006	急性呼吸窮迫症候群症例における吸気呼気CT画像を用いた換気分布解析	富山憲幸	放射線科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
臨床婦人科産科 60: 383-387, 2006.	女性診療科外来プラクティス 腫瘍外来 腫瘍外 来の検査 MRI.	大西裕満	放射線科
臨床画像 22: 1002-1008, 2006.	腹部消化器系のCT・MRIお勧め撮像法 脾の充実 性腫瘍	金 東石	放射線科
日獨医報 51: 190- 197, 2006	治療方針決定にMSCTが及ぼすインパクト-CT Angiographyを中心に- 1. CT Angiographyの現 状.	金 東石	放射線科
臨床核医学 39: 4-7, 21-25, 53- 56, 2006	腫瘍PET-CTの実際(連載).	巽 光朗	放射線科
産婦人科の進歩 58(2):241- 244,2006.	当院での産褥出血に対するUAE施行症例の検 討.	大須賀慶悟	放射線科
日獨医報 51(1):133-138, 2006.	画像診断とIVRのための腹部血管解剖 骨盤 子宮 動脈塞栓術(UAE)に関する血管解剖.	大須賀慶悟	放射線科
日本IVR学会雑誌 21:393-396, 2006.	血管腫・血管奇形に対するIVR 診断から外科的 治療まで,その適応と限界.	大須賀慶悟	放射線科
臨床放射線 51(11):1364-1369, 2006.	Interventional Radiologyのコツ 頭頸部 血管腫・ 血管奇形、鼻出血.	大須賀慶悟	放射線科
癌と化学療法 33(9):1221-1225, 2006.	動注化学療法の進歩 肝細胞癌.	大須賀慶悟	放射線科
臨床画像 22: 1359-1366, 2006.	脾疾患におけるPET-CTの役割.	巽 光朗	放射線科
Int J Radiat Oncol Biol Phys(64: 643- 649, 2006)	Optimization of dose distribution for HDR brachytherapy of the prostate using Attraction- Repulsion Model	Sumida I	放射線治療科
Radiother Oncol(80: 62-68, 2006)	High-dose-rate brachytherapy without external beam irradiation for locally advanced prostate cancer.	Yoshioka Y	放射線治療科
Strahlenther Onkol(182: 437- 442, 2006)	Postoperative irradiation for pterygium	Isohashi F	放射線治療科
Radiat Med(24: 58-64, 2006)	High-dose-rate brachytherapy combined with long-term hormonal therapy for high-risk prostate cancer: results of a retrospective analysis.	Oh RJ	放射線治療科
Radiat Med(24: 50-57, 2006)	Intracavitary brachytherapy for carcinoma of the uterine cervix —comparison of HDR(Ir-192) and MDR(Cs-137)—	Tanaka E	放射線治療科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Anticancer Res(26:3933-3937, 2006)	High-dose-rate interstitial brachytherapy for mobile tongue cancer: influence of the non-irradiated period.	Kakimoto N	放射線治療科
Ann Nucl Med. 2006 Dec;20(10):671-5.	Evaluation of delayed 18F-FDG PET in differential diagnosis for malignant soft-tissue tumors.	Hamada K	核医学診療科
Ann Nucl Med. 2006 Oct;20(8):511-7.	Effect of linearization correction on statistical parametric mapping (SPM): a 99mTc-HMPAO brain perfusion SPECT study in mild Alzheimer's disease.	Ansar MA	核医学診療科
Neurology. 2006 Sep 12;67(5):887-90.	Auditory and tactile processing in a postmeningitic deaf-blind patient with a cochlear implant.	Osaki Y	核医学診療科
Ann Nucl Med. 2006 Apr;20(3):209-15.	Diastolic blood pressure influences cerebrovascular reactivity measured by means of 123I-iodoamphetamine brain single photon emission computed tomography in medically treated patients with occlusive carotid or middle cerebral artery disease.	Kimura Y	核医学診療科
Skeletal Radiol. 2006 May;35(5):306-10. Epub 2005 Dec 7.	False positive 18F-FDG PET in an ischial chondroblastoma; an analysis of glucose transporter 1 and hexokinase II expression.	Hamada K	核医学診療科
Ann Nucl Med. 2007 Feb;21(2):109-13.	Crossed cerebellar diaschisis: a positron emission tomography study with L-[methyl-11C]methionine and 2-deoxy-2-[18F]fluoro-D-glucose.	Kajimoto K	核医学診療科
Br J Radiol. 2007 Jan;80(949):e24-6.	Unicentric and multicentric Castleman's disease.	Enomoto K	核医学診療科
Endocr J (2006年4月53巻2号)	Thrombospondin 1 mRNA as a candidate for a marker to detect thyroid-derived fibroblasts in fine needle aspiration biopsy of the thyroid.	高野 徹	臨床検査部
Thyroid (2006年6月16巻6号)	Thyroxine to triiodothyronine hyperconversion thyrotoxicosis in patients with large metastases of follicular thyroid carcinoma.	高野 徹	臨床検査部
Haematologica 91; 699-702, 2006.	The presence of anti-phosphatidylserine/prothrombin antibodies is the strongest risk factor for both arterial and venous thrombosis in patients with systemic lupus erythematosus.	Nojima J	臨床検査部
日本検査血液学会雑誌 第7巻 496-505 2006年	血小板・凝固線溶系の症例提示:抗リン脂質抗体症候群。	野島 順三	臨床検査部
J Pathol (2007年9月、210巻1号)	Epigenetic regulation of the expression of the novel stem cell marker CDCP1 in cancer cells.	池田 純一郎	病理部
Leukemia (2006年9月、20巻9号)	Role of DNA methylation for expression of novel stem cell marker CDCP1 in hematopoietic cells.	森井 英一	病理部

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Am J Pathol (2007年1月、170巻1号)	Pre B cell leukemia transcription factor 1 (PBX1) regulates expression of valosin-containing protein (VCP), a gene involved in cancer growth.	森井 英一	病理部
Virchow Arch (2007年2月、450巻2号)	Mediastinal lymphangiomatosis coexisting with occult thymic carcinoma.	池田 純一郎	病理部
Int J Hematol (2006年5月、83巻4号)	Methotrexate-associated lymphoproliferative disorder mimicking composite lymphoma.	池田 純一郎	病理部
J.TRAUMA	A Neutrophil Elastase Inhibitor, Sivelestat, Improves Leukocyte Deformability in Patients With Acute Lung Injury	田中裕	高度救命救急センター
Current Neurovascular Research	Acute Cerebral Blood Flow Variations after Human Cardiac Arrest Assessed by Stable Xenon Enhanced Computed Tomography	井上貴昭	高度救命救急センター
European Journal of radiology	Classification of acute pancreatitis based on retroperitoneal extension: Application of the concept of interfascial planes	石川和男	高度救命救急センター
JJAAM	Improved Oxygenation by Steroid Pulse Therapy in Early-Phase Acute Respiratory Distress Syndrome	角由佳	高度救命救急センター
J.TRAUMA	Enhanced Expression of Intracellular Heme Oxygenase-1 in Deactivated Monocytes From Patients With Severe Systemic Inflammatory Response Syndrome	毛利智好	高度救命救急センター
SHOCK	Synergistic Effects of Recombinant Human Soluble Thrombomodulin and Fluid-Volume Resuscitation in a Rat Lethal Crash Injury Model	毛利智好	高度救命救急センター
日本臨床救急医学会雑誌・別冊 (vol.10 No.1)	救急医療における倫理問題について -臨床倫理検討会の取り組み-	小川尚子	高度救命救急センター
HEMORHEOLOGY and RELATED RESEARCH	敗血症・外傷患者における白血球変形能および全血レオロジーの経日的変化	西野正人	高度救命救急センター
Ann Nucl Med	Evaluation of delayed 18F-FDG PET in differential diagnosis for malignant soft-tissue tumors.	濱田 健一郎	未来医療センター
Clin Cancer Res	Parthenolide, a natural inhibitor of Nuclear Factor kappaB, inhibits lung colonization of murine osteosarcoma cells.	岸田 友紀	未来医療センター
Exp Cell Res	Bone morphogenetic protein-2 promotes the haptotactic migration of murine osteoblastic and osteosarcoma cells by enhancing incorporation of integrin beta1 into lipid rafts.	外堀 司	未来医療センター
J Bone Miner Metab	Critical role of cortactin in actin ring formation and osteoclastic bone resorption.	松原 琢磨	未来医療センター

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
J Biol Chem	Oxygen tension regulates chondrocyte differentiation and function during endochondral ossification.	平尾 眞	未来医療センター
J Orthop Sci	Salvage surgery for persistent femoral nonunion after total knee arthroplasty using a megaprosthesis.	藤井 隆太郎	未来医療センター
Biochem Biophys Res Commun	A novel type of EWS-CHOP fusion gene in myxoid liposarcoma.	松井 好人	未来医療センター
Cancer	Prognostic significance of Wilms tumor gene (WT1) mRNA expression in soft tissue sarcoma.	外堀 司	未来医療センター
BBRC (2006, Aug, vol 346, 1125-1130)	Suppressive effect on hepatocyte differentiation of hepatitis C virus core protein	Hosui A	未来医療センター
Hepatology (2007, Jan, vol45, 22-30)	Intrahepatic delivery of α -galactosylceramide pulsed dendritic cells suppresses liver tumor	Tatsumi T	未来医療センター
Immunology(2007, Jan, vol120, 73-82)	Natural killer cell and hepatic cell interaction via NKG2A leads to dendritic cell-mediated induction of CD4CD25 T cell with PD-1-dependent regulatory activities.	Jinushi M	未来医療センター
Int J Cancer (2007, Mar, vol120, 1252-1260)	Natural killer cell-mediated ablation of metastatic liver tumors by hydrodynamic injection of IFN α gene to mice	Takehara T	未来医療センター
Hum Mol Genet (15:1151-1158, 2006)	Multiple candidate gene analysis identifies α -synuclein as a susceptibility gene for sporadic Parkinson's disease.	Mizuta I	遺伝子診療部
Biochem Biophys Res Commun (342:489-502, 2006)	Expression profiling of muscles from Fukuyama-type congenital muscular dystrophy and laminin- α 2 deficient congenital muscular dystrophy; is congenital muscular dystrophy a primary fibrotic disease?	Taniguchi M	遺伝子診療部
Hum Mol Genet (15:1279-1289, 2006)	Aberrant neuromuscular junctions and delayed terminal muscle fiber maturation in α -dystroglycanopathies.	Taniguchi M	遺伝子診療部
Neuromuscul Disord (16:274-276, 2006)	A case of Fukuyama-type congenital muscular dystrophy with a very mild mental deficit.	Hino-Fukuyo N	遺伝子診療部
Mov Disord (21:1102-1108, 2006)	Clinicogenetic study of mutations in LRRK2 exon 41 in Parkinson's disease patients from 18 countries.	Tomiya H	遺伝子診療部
Fertil Steril (86:1553-1554, 2006)	Candidate genes for male factor infertility-validation.	Mori T	遺伝子診療部
Biochem Biophys Res Commun (350:935-941, 2006)	Molecular interaction between fukutin and POMGnT1 in the glycosylation pathway of α -dystroglycan.	Xiong H	遺伝子診療部

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
J Hum Genet (51:915-927, 2006)	The genetic and molecular basis of muscular dystrophy: roles of cell-matrix linkage in the pathogenesis.	Kanagawa M	遺伝子診療部
Twin Res Hum Genet (9:811-816, 2006)	Registry of adolescent and young adult twins in the Tokyo area.	Shikishima C	遺伝子診療部
Mol Ther (15:303-309, 2007)	Protein transduction domain-mediated delivery of QBP1 suppresses polyglutamine-induced neurodegeneration in vivo.	Popiel HA	遺伝子診療部
Neuroreport (18:273-275, 2007)	Leucine-Rich Repeat kinase 2 G2385R variant is a risk factor for Parkinson disease in Asian population.	Funayama M	遺伝子診療部
医療薬学 (32, 5, 2006)	外来がん化学療法部門システムの追加導入と混合調製業務に寄与する因子の多変量解析	竹上 学	薬剤部
日病薬誌 (42, 9, 2006)	ボグリボース口腔内崩壊錠の自動錠剤機での調剤時の安定性	野田 恵美	薬剤部
Biol.Pharm.Bull. (29, 11, 2006)	Correlation between Plasma Glucagon-Like Peptide 2 Levels and Proliferative Makers in Small Intestinal Injury in Rats Induced by Methotrexate Administration	N.Kurokawa	薬剤部
癌と化学療法 (34, 3, 2007)	精系外科領域に於ける大量癌化学療法に対する5-HT3受容体拮抗剤の効果比較	竹中 美樹	薬剤部
Hospital Pharmacy (42, 3, 2007)	Efforts to Ensure Safety of Hospital Pharmacy Personnel Occupationally Exposed to Antineoplastic Drugs During a Preparation Task	Y.Yagi	薬剤部
日本臨床検査自動化学会誌. 31, 312-316, 2006	蛍光偏光免疫測定法 (FPIA) による Teicoplanin 血中濃度測定の基礎的検討	中澤美保子	医療技術部

計 410

- (注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請した、平成18年度に発表したもののうち、各診療科等所属医師等(医療技術職員を含む)が主
- 2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を

(様式第12)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	病院長 林 紀夫		
管理担当者氏名	総務課長 松本 吉弘	医事課長 恒吉 祐治	
	薬剤部長 黒川 信夫	放射線部長 中村 仁信	

		保管場所	分類方法
診療に関する諸記録 病院日誌 検査所見記録、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約 処方箋 手術記録 看護記録 エックス線写真 各科診療日誌		総務課 医事課 薬剤部 手術部 看護部 放射線部 各診療科	カルテ等病歴資料は、外来・入院別に1患者1カルテ方式とし、コンピュータによる集中管理を行っている。 エックス線写真は、放射線部で集中保管。
病院の管理及び運営に関する諸記録	従業者数を明らかにする帳簿	総務課	
	高度の医療の提供の実績	医事課	
	高度の医療技術の開発及び評価の実績	総務課	
	高度の医療の研修の実績	総務課	
	閲覧実績	総務課	
	紹介患者に対する医療提供の実績	総務課	
入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	総務課 薬剤部		
確規保則の第9条の2及び第11条各号に掲げる体制	専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	中央クオリティマネジメント部	
	専任の院内感染対策を行う者の配置状況	感染制御部	
	医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	中央クオリティマネジメント部	
	当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医事課	
	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	中央クオリティマネジメント部	
	医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	中央クオリティマネジメント部	
	医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	中央クオリティマネジメント部	
	医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	中央クオリティマネジメント部	

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式第13)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び紹介患者に対する医療提供の実績

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

閲覧責任者氏名	総務課長 松本吉弘
閲覧担当者氏名	総務課庶務係長 田中忠美
閲覧の求めに応じる場所	総務課庶務係

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延	0	件	
閲覧者別	医師	延	0	件
	歯科医師	延	0	件
	国	延	0	件
	地方公共団体	延	0	件

○紹介患者に対する医療提供の実績

紹介率	77.9%	算定期間	平成18年4月1日～平成19年3月31日
算出根拠	A:紹介患者の数		19,642人
	B:他の病院又は診療所に紹介した患者の数		11,980人
	C:救急用自動車によって搬入された患者の数		537人
	D:初診の患者の数		29,302人

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、B、Cの和をBとDの和で除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
2 A、B、C、Dは、それぞれの延数を記入すること。

(様式第 13-2)

規則第 9 条の 2 3 及び第 1 1 条各号に掲げる体制の確保状況

① 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	有 (3 名) ・ 無								
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有 (4 名) ・ 無								
③ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	有 ・ 無								
<ul style="list-style-type: none">・ 所属職員： 専任 (4) 名 兼任 (0) 名・ 活動の主な内容：<ol style="list-style-type: none">1. インシデントの調査・分析・レポート管理2. 現場のリスクマネージャー支援3. 他の委員会や部署、各職種間の連絡調整4. リスクマネジメント委員会等の開催準備5. 医療事故防止方策の検討・実施・評価6. フィードバック教材の作成7. 職員研修の企画・開催準備8. リスクマネージャー会議の開催準備									
④ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	有 ・ 無								
⑤ 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有 ・ 無								
<ul style="list-style-type: none">・ 指針の主な内容：<ol style="list-style-type: none">1. 患者中心の医療の実践2. 医療安全に関する組織的取り組み3. インシデントの報告4. 機能する医療事故防止対策5. 適切な医療事故への対応6. 患者相談の実施7. 情報の共有8. 安全文化の構築9. 医療安全管理マニュアルの作成・更新10. 医療安全管理に関する指針の公開									
⑥ 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年 回								
<ul style="list-style-type: none">・ 活動の主な内容：<table border="0"><tr><td>医療安全管理委員会：本院における医療に係る安全管理について統括する</td><td>毎月 1 回</td></tr><tr><td>リスクマネジメント委員会：医療事故の防止策を策定する</td><td>年 4 回</td></tr><tr><td>医療クオリティ審議委員会：医療クオリティの向上を図る</td><td>年 13 回</td></tr><tr><td>医療事故対策委員会：医療事故が発生した場合の必要な対応を行う</td><td>年 0 回</td></tr></table>		医療安全管理委員会：本院における医療に係る安全管理について統括する	毎月 1 回	リスクマネジメント委員会：医療事故の防止策を策定する	年 4 回	医療クオリティ審議委員会：医療クオリティの向上を図る	年 13 回	医療事故対策委員会：医療事故が発生した場合の必要な対応を行う	年 0 回
医療安全管理委員会：本院における医療に係る安全管理について統括する	毎月 1 回								
リスクマネジメント委員会：医療事故の防止策を策定する	年 4 回								
医療クオリティ審議委員会：医療クオリティの向上を図る	年 13 回								
医療事故対策委員会：医療事故が発生した場合の必要な対応を行う	年 0 回								
⑦ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 3 回								
<ul style="list-style-type: none">・ 研修の主な内容：<ol style="list-style-type: none">第 1 回：患者確認について、ハイリスク情報の共有化、検査前処置と同意書の徹底、造影剤による腎障害と造影剤使用のガイドライン策定について、造影剤使用時のガイドライン 造影剤腎症とその予防、重大事態発生時の対応第 2 回：高齢者の評価とリスク管理について、睡眠剤の適正使用について、深部静脈血栓症と肺塞栓症の予防・診断・治療ガイドライン・症例に学ぶ・eラーニング導入について第 3 回：当院の法律相談の現状について 医療関連死モデル事業について									

⑧ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況

- ・ 医療機関内における事故報告等の整備 (有 ・ 無)
- ・ その他の改善のための方策の主な内容：
 - ・ ヨード造影剤等による腎障害防止のための、電子カルテ上でのGFR（糸球体濾過量）の自動計算システムの導入
 - ・ 救急カート内薬剤の標準化
 - ・ 電子カルテ上での患者情報（薬剤禁忌・食物禁忌・転倒等のハイリスク）共有システムのリリース
 - ・ 自殺防止対策の施された換気ロムーバーの採用